

**FILE No. 12**  
**保健福祉部**

ファイルは全21ファイルあり 評価表の見方はFILENo. 1にあります。  
 評価一覧は、FILENo. 1の整理番号順目次をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
健康推進課 (その1)	404		杉並保健所維持管理
	410		衛生統計調査等
	411		献血事業の推進
	412		覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動
	414		医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助
	415		地域保健推進協議会の運営
	416		専門研修
	417		かかりつけ医機能推進
	418		かかりつけ歯科医機能支援
	419		健康都市杉並ファロ
	420		薬物相談関係機関の連携
	421		休日等急病診療
	422		歯科休日急病診療
	423		急病診療調剤事業
	424		災害救急対策
	425		歯科保健医療センター運営
	426		分煙化の推進
	427		健康づくり推進員
	428		地域健康づくり支援事業
	429		健康増進事業
	430		健康づくり協力店普及促進
431		子ども健康教室	
432		ヘルシーセミナー	
433		地域健康講座	

**次のページへ**

健康推進課 (その2) / 生活衛生課

**FILE No. 12**  
**保健福祉部**

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。  
 評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 2

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
健康推進課 (その2)	434		栄養・健康講座
	435		集団給食施設指導
	436		精神保健相談
	437		精神障害者社会復帰訓練
	439		精神保健福祉連絡協議会運営
	462		健康手帳交付
	463		生活習慣病教室
	464		胃がん検診
	465		子宮がん検診
	466		肺がん検診
	467		乳がん検診
	468		大腸がん検診
	469		喉頭がん検診
	470		高年者健康診査
	471		成人健康診査
472		成人歯科健康診査	
生活衛生課	444		環境衛生監視
	445		食品衛生監視
	446		動物の適正飼養指導
	447		畜犬登録
	448		医務監視
	449		薬事監視

[前のページへ](#)
[健康推進課 \(その1\)](#)

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並保健所維持管理				整理番号	404		枝番号		
所属部課名 保健福祉部健康推進課		コード	150101		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	430		
係名 庶務係		上位施策名						NO			
予算事業名 保健所等維持運営		コード	40600		保健福祉施策の総合的推進						21
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並保健所設置条例						
	乳児から高齢者までの、保健所及び保健医療センター利用者		(3) 杉並区立保健医療センター条例 同施行令								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保健所及び保健医療センターの 庁舎維持管理 設備保守管理 備品管理		活動指標名 (式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		安全で快適な施設及び環境を提供する		成果指標名 (式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		庁舎を計画的に維持管理することにより、保健所等を利用する区民に対し安全で快適な施設を提供している									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標 (1)	人	70,003	70,347	計画	実績	74,469	74,411	69,038		
	活動指標 (2)	m <sup>2</sup>	6,426	6,426	6,426	6,426	6,426				
	成果指標 (1)	件	25	9	15	13	15				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	154,052	101,292	104,154	94,621	98,637	特記事項		
	(内) 委託費		千円	71,121	64,118	65,194	62,828	66,181	平成11年4月竣工開始 延床面積6426.13m <sup>2</sup> (杉並保健センター面積1335.88m <sup>2</sup> 含む) 13年度委託料の見直しにより事業費が減額となる 14年度活動指標(1)の利用者減は、事業の廃止による。		
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.90	0.90	0.40	0.41	0.40			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,166	8,166	3,630	3,721	3,630			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	162,218	109,458	107,784	98,342	102,267			
	単位あたりコスト ÷		円	2,317	1,556	1,447	1,322	1,481			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円	447	475	599	466			483
		特定財源計 +		千円	447	475	599	466			483
差引 : 一般財源 -		千円	161,771	108,983	107,185	97,876	101,784				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度開始時は、「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設したが、平成12年度・13年度の平日は休止となる。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設した。夜間の開設時間が延長となったため、警備費や駐車場管理の委託費及び光熱水費等の経費が増大した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		庁内の案内版が少ない。								
	今後の予測		建物の構造上の問題 (通年空調使用の建物のため南側に換気窓がない)、保健福祉センター設置予定 (平成16年度開始予定) 及び設備の劣化により修繕費等の経費が増大する。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等				整理番号	410		枝番号		
所属部課名杉並保健所健康推進課				コード		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	436	
係名 庶務係					上位施策名				NO		
予算事業名 衛生統計調査等					コード	41000		健康なまちづくりの推進			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				53 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 統計法				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 統計報告調整法						
	無作為抽出した世帯及び世帯員。医療機関、医療関係者。出生・死亡・婚姻・離婚・死産届のあったもの。保健所及び保健センター。				(3) 地域保健法						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)						
厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。人口動態調査については、調査票に基づき杉並区の統計資料を作成する。				(1) 実施調査数							
				(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)							
各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策にひろく反映させる。				(1) (代)区単位のベースラインデータ構築数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 今後の厚生行政施策に反映させるとともに、「健康なまちづくりの推進」のための施策に活用している。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	調査	8	8	4	4	11				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	データ	9	9	5	5	12				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,573	5,264	1,538	1,002	2,085	特記事項			
	(内)委託費	千円									
	職員数(正規   非常勤)	人	2.06	2.95	0.50	0.51	1.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	18,690	26,765	4,538	4,628	9,075			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	25,263	32,029	6,076	5,630	11,160				
	単位あたりコスト ÷	円	3,157,923	4,003,669	1,518,875	1,407,563	1,014,545				
	財源	受益者負担分	千円								
		国 都等からの支出金	千円	3,917	7,446	1,450	1,063	2,004			
		特定財源計 +	千円	3,917	7,446	1,450	1,063	2,004			
差引:一般財源 -		千円	21,346	24,583	4,626	4,567	9,156				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	地域保健を取り巻く状況は、急速な高齢化の進展、慢性疾患の増加等により大きく変化してきた。これに伴い、統計調査の種類・様式も見直されている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	留守世帯が多く、回収が困難な状況にある。また、調査趣旨の理解を得られず、回収できないケースも多い。									
	今後の予測	指定統計については今後も変わらないが、承認統計については、増減が予想される。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		献血事業の推進				整理番号	411		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	437		
係名		庶務係				上位施策名			NO			
予算事業名		保険事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進			22			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区献血推進協議会設置要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 献血の推進について(昭和39年8月21日閣議決定)							
	16歳以上の区内在住・在勤・在学者		(3) 献血の推進対策について(昭和39年8月22日厚生省業務局長通達)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区献血推進協議会の開催及び運営を行う。 献血推進のためのPRポスターを掲示する。 献血推進キャンペーンと区役所庁舎内での献血の実施				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		献血者の増加				成果指標名(式)					
						(1) 区内献血目標(予定)者数と実際に献血した人数の割合(%)						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
人工的に製造できない輸血用血液及び血液製剤の需要と供給のバランスを保つよう献血の推進を行う。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		人	5,818	4,843	5,000	3,909	5,000				
	活動指標(2)		回	4	4	4	4	4				
	成果指標(1)		%	116	74	100	78					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	323	339	309	267	309		特記事項		
	(内)委託費		千円							成果指標 11年度 計画=5,015人 実績=5,818人 12年度 計画=6,517人 実績=4,843人 13年度 計画=5,000人 実績=3,909人 14年度 計画=5,000人		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.41	0.11	0.20	0.21	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,720	998	1,815	1,906	1,815			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	4,043	1,337	2,124	2,173	2,124				
	単位あたりコスト ÷		円	695	276	425	556	425				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	4,043	1,337	2,124	2,173	2,124					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		献血推進協議会開設当初は、血液の需要と供給のバランスが悪く、献血思想の普及を推進していた。献血者は昭和59年をピークに減少傾向にあるが、新たに400m献血や成分献血等の制度が施行されてから、大きな血液不足は生じていない。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測		高齢社会に伴い、血液需要は増加傾向にある。一方献血者は10代を中心に減少傾向にある。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動			整理番号	412	枝番号	
所属部課名		杉並保健所健康推進課	コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	438
係名		庶務係		上位施策名			NO	
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400	健康なまちづくりの推進		22
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 「ダメゼッタイ」普及運動実施要綱	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)	
	区民を中心とする、区内駅頭における歩行者及び区行事への参加者。 区内中学校生徒。						(3)	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 覚せい剤等薬物乱用防止のために、薬物乱用防止推進杉並地区協議会と協力し、駅頭等で啓発キャンペーン（パネルの展示、チラシ、ティッシュペーパー等の配布）を行う。 また、区内中学校生徒を対象に薬物乱用防止ポスター・標語の募集を行う。						活動指標名（式）	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 区民等が、覚せい剤等薬物に関する正しい知識を持ち、薬物乱用の恐ろしさや危険性を理解することにより、薬物乱用防止の必要性を認識する。						成果指標名（式）	
						(1) 啓発キャンペーン実施回数		
						(2)		
						(1) 杉並区内の麻薬・覚せい剤事犯検挙者数		
						(2)		
						意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		
						家族・学校・地域ぐるみで薬物の乱用を防止し、健全な地域社会の形成を図る。		

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
						計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		3	4		3	3		3				
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		69	77			66						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	48	41	49	46	41	特記事項					
	(内)委託費	千円											
	職員数(正規 非常勤)	人	0.21	0.21	0.30	0.30	0.30						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,905	1,905	2,723	2,723	2,723					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費	千円	1,953	1,946	2,772	2,769	2,764						
	単位あたりコスト	円	651,110	486,583	923,833	922,833	921,167						
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
		特定財源計	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源		千円	1,953	1,946	2,772	2,769	2,764						
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	全国的には、昭和59年をピークとする「第2次覚せい剤乱用期」を経て、平成7年以降再び検挙人員が増加に転じ、平成8年には2万人を超え、平成10年に「第3次覚せい剤乱用期」への突入が発表されるなど、覚せい剤を中心とした薬物事犯者が増加してきた。その後、平成11年は約18,500人、平成12年は約19,000人、平成13年は約18,000人と推移している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	平成13年の薬物事犯の総検挙人員は、前年と比べると減少しているが、犯罪の巧妙化、潜在化も考えられ、引き続き予断を許さない状況である。また、20歳代を中心に青少年への拡大が危惧されている。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助		整理番号	414	枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課	コード	150101	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	440
係名		庶務係		上位施策名			NO	
予算事業名		保健事業の推進		健康なまちづくりの推進			22	
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		(1) 杉並区健康保持事業補助金交付要綱				
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区医師会、杉並区歯科医師会、杉並区薬剤師会 杉並区歯科技工士会、杉並区接骨師会		(2) 医療技術研修補助金交付要綱				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業対象団体が実施する区民健康保持事業、医療技術研修事業、看護高等専修学校運営事業、地域医療連携推進委員会運営費に対し補助金を支払う。		(3) 杉並区医師会付属看護高等専修学校運営費補助金交付要綱				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		医師会・歯科医師会・薬剤師会が実施する健康保持事業を支援することにより、区民の健康保持増進等を図る。 歯科技工士会・接骨師会が実施する医療技術研修事業を支援することにより、会員の資質向上を図る。 医師会付属看護高等専修学校の運営経費の一部を補助することにより、看護職員の確保等を図る。 地域医療連携を推進し、区民の福祉向上に寄与する。		(4) 杉並区地域医療連携推進委員会運営費補助金交付要綱				
活動指標名 (式)				補助金申請数				
成果指標名 (式)				(1) (代) 実施事業件数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		医療関係団体が実施する健康保持事業、医療技術研修事業等に財政援助することで、区民の健康保持・増進に貢献している。						

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標 (1)	件	7	7	7	7	7			
	活動指標 (2)									
	成果指標 (1)	件	34	30	31	27	28			
	成果指標 (2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,295	8,620	7,980	7,980	7,340	特記事項		
	(内)委託費	千円								
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.20	0.21	0.20	0.20	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,905	1,815	1,815	1,815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	11,110	10,525	9,795	9,795	9,155			
	単位あたりコスト ÷	円	1,587,086	1,503,619	1,399,286	1,399,286	1,307,857			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	11,110	10,525	9,795	9,795	9,155			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初は健康保持事業に対する補助金で始めたが、平成2年度から医療技術研修に対する補助金、平成4年度から地域医療連携推進委員会に対する補助金を追加した。 平成11年度から3カ年、看護学校に対する補助金を除き削減してきた。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	特になし								
	今後の予測	平成10年度予定した削減が終了したため、しばらくは変化しない。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域保健推進協議会の運営				整理番号	415		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	441		
係名		庶務係			上位施策名				NO			
予算事業名		保険事業の推進		コード	45750	健康なまちづくりの推進				22		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区地域保健推進協議会設置要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2)					
	委員対象		学識経験者、区内各種団体の推薦委員、公募委員									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民の健康づくりに関すること、地域保健医療計画の推進に関すること、保健・医療・福祉の連携に関すること、保健所及び保健センターの運営に関すること、その他、地域保健の推進に関することについての協議を行う。									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区における地域保健推進施策及び保健所の運営等について、各団体(区民)の代表である委員により課題等を協議することで、区民の健康保持・増進を図る。										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		各種の地域保健施策及び保健所の運営等について、委員を通じ区民の意見を幅広く聴き協議することにより、区民との協働による健康なまちづくりの推進が図られる。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		回	3	2	3	2	3				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		件	18	17	20	11	15				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	545	335	592	410	550	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.31	0.31	0.30	0.31	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,813	2,813	2,723	2,813	2,723				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	3,358	3,148	3,315	3,223	3,273				
	単位あたりコスト ÷		円	1,119,210	1,573,815	1,104,833	1,611,625	1,090,833				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	3,358	3,148	3,315	3,223	3,273					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年に、保健所運営協議会を廃止し、保健所運営協議会、健康づくり推進協議会の性格を併せ持つ杉並区地域保健推進協議会を設置した。平成13年度からは、区内の救急医療体制充実を図るため、地域保健推進協議会救急医療検討部会を設置し、検討した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		委員からは、地域保健医療計画、保健・医療・福祉の連携、区民の健康づくり施策等について、貴重な意見を頂戴している。									
	今後の予測		平成11年度に「特別区における地域保健医療計画推進協議会設置・運営指針」がなくなったことから、区独自で地域保健推進協議会を設置する必要がなくなったため、地域保健推進協議会のあり方について、検討する必要がある。									



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		専門研修				整理番号	416		枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	442	
係名		庶務係				上位施策名			NO		
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400	健康なまちづくりの推進			22		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並保健所専門研修事業実施要領						
	保健衛生に関する知識を必要とする区職員及び関係団体職員		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		上記対象者に保健衛生の専門研修を実施する。また、保健所の技術・専門職の知識を活用するため、講師は原則として保健所の専門職で対応する。		活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		日々の業務の中で保健衛生の知識を必要とする区職員及び関係団体職員等の資質の向上を図られる。		成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区職員及び関係団体職員等の資質の向上を図る。		(1) 受講生のうち、アンケート等により成果があったと答えた人の割合(%)							
		(2)									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	回	6	7	6	6	6				
	活動指標(2)	人	250	235	250	455	250				
	成果指標(1)	%		67.7	80	67	80				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	340	146	159	41	158	特記事項			
	(内)委託費	千円									
	職員数(正規 非常勤)	人	1.03	0.33	0.20	0.21	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,345	2,994	1,815	1,906	2,723			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	9,685	3,140	1,974	1,947	2,881				
	単位あたりコスト ÷	円	1,614,198	448,584	329,000	324,458	480,083				
	財源	受益者負担分	千円								
		国 都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	9,685	3,140	1,974	1,947	2,881					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢者分野は介護保険の導入に伴い、新たにケアマネージャーへの研修の必要性が生じている。また、NPO等住民参加型の中小事業者が増加するなど、区民を取り巻く状況が変化している中で、介護者の知識や技術の向上等に保健所としてアプローチしていく必要性が生じている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	関係団体等の中には、独自の企画が難しく、十分な研修を組めない所が多く、多彩な専門職種を有する保健所への期待は大きい。									
	今後の予測	保健福祉センターの設置に向けて、保健福祉部他課とも連携をとりながら、より効果的な研修を開催し、関係団体職員等の資質の向上に取り組む必要がある。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ医機能推進				整理番号	417		枝番号							
所属部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	443						
係名		健康推進係			上位施策名				NO							
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400		地域医療体制の整備			39						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		8 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区かかりつけ医機能推進事業実施要綱									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)											
	区民		(3)													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		医師会に委託して、区民一人ひとりにかかりつけ医を持つことの必要性を啓発し、区民からのかかりつけ医紹介等の相談に応じる。また、区からもかかりつけ医の必要性を啓発していく。				活動指標名 (式)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民が、日常的な健康管理を安心して行うことができ、身近な地域で適切な医療を受けられる。				成果指標名 (式)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		身近な地域で適切な医療を受けられることにより、医療機能の分担と連携が促進され、地域医療体制の整備が図られる。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%				
							計画	実績			16年度					
指標	活動指標 (1)		件	43		43		80	32	80		80	40.0			
	活動指標 (2)															
	成果指標 (1)		%									70	0.0			
	成果指標 (2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,968		2,968		1,388	808	1,358		特記事項				
	(内)委託費		千円					809	808	809		成果指標は区民の意識調査より把握する。次回の区民意識調査時に合わせて調査を行い、数値を把握する。				
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.05		0.05		0.35		0.06				0.20		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	454		454		3,176	545	1,815					
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0					
	総事業費 + +		千円	3,422		3,422		4,564	1,353	3,173						
	単位あたりコスト ÷		円	79,573		79,573		57,053	42,266	39,663						
	財源	受益者負担分		千円												
		国 都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0					
差引：一般財源 -		千円	3,422		3,422		4,564	1,353	3,173							
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度からは、介護保険制度も始まり要介護認定の際に、かかりつけ医の意見書が必要とされるなど、かかりつけ医の必要性はますます高まっている。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		かかりつけ医のいない区民 (全区民の36.9%) の75.2%がかかりつけ医を必要としている。(平成9年度 区民受療行動調査)													
	今後の予測		高齢社会の進展や介護保険制度の導入などによりかかりつけ医による日常の健康管理の必要性はますます高まっていく。													

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ歯科医機能支援			整理番号	418	枝番号		
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	444
係名				健康推進係		上位施策名		NO	
予算事業名				保健事業の推進		地域医療体制の整備		39	
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成 11 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
事業終期				○ 無 ● 有 平成 13 年度		(1) 東京都歯科医療連携推進事業実施要綱			
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)			
全区民						(3)			
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)				
	歯科保健医療センターを中心に地域歯科医療体制のシステム化を進めるために医師会・歯科医師会と協議の場を整備し、在宅要介護高齢者や障害者、ウイルス性疾患感染者などの歯科診療を受けにくい区民を中心にかかりつけ歯科医の紹介と定着を行う。				(1) かかりつけ歯科医機能支援検討委員会の開催数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)				
	すべての区民が身近にかかりつけ歯科医を持ち、定期健診や必要に応じて適切な専門医療が受けられる。				(1) かかりつけ歯科医を持つ区民の割合				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				身近にかかりつけ歯科医を持ち、定期健診や必要に応じて適切な専門医療が受けられることは、地域医療体制の整備につながる。					

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	年度			
指標	活動指標 (1)	回	1	1	2	2							
	活動指標 (2)	件	150	91	100	99							
	成果指標 (1)	%			65	59.9							
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	149	684	120	72						特記事項	
	(内)委託費	千円										活動指標 (2)については、11年、12年度は家庭訪問歯科診療事業の申し込み数をあてた。13年度以後は、歯科保健医療センター 歯科医療連携室への相談数をあてた。	
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.02	0.65	0.05	0.37	0.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	181	5,897	454	3,358	0					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	330	6,581	574	3,430	0						
	単位あたりコスト ÷	円	330,460	6,581,450	286,875	1,714,875							
	財源	受益者負担分	千円										
		国 都等からの支出金	千円	99	445	0	0	0					
		特定財源計 +	千円	99	445	0	0	0					
差引：一般財源 -		千円	231	6,136	574	3,430	0						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	11年度から歯科医師会 医師会と協議を重ね、本事業の理解は徐々に深まっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	住民の、口腔内の健康に関する意識の変化に伴い、かかりつけ歯科医に対する要望も細分化されている。
	今後の予測	歯科保健医療センターは、かかりつけ歯科医の紹介業務だけではなく、高次歯科医療機関と一般歯科診療所、医科診療所 病院と歯科医療機関との連携業務などを行う 地域歯科医療連携の核となると考えられる。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康都市杉並ファロ				整理番号	419		枝番号	
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	445
係名 庶務係				上位施策名				NO		
予算事業名		保険事業の推進		コード	41400		健康なまちづくりの推進			22
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 すべての区民、団体、企業。				(2) 地域保健対策の推進に関する基本的な方針					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				(3)					
	9~10月の「健康都市杉並推進月間」中に、セッション杉並において区民参加によるフォーラムを行う中央イベント、関係団体の催しを行う杉並保健所イベント、地域住民との協働により行う各保健センター地域イベント、健康都市の理念を共有する各種団体が独自に実施する協賛イベントからなる多彩な活動を実施する。				活動指標名(式)					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 健康都市づくりの理念の共有、地域ネットワークの充実、総合的な健康政策推進のためのシステム整備。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 健康都市杉並ファロを継続して実施することにより、健康都市杉並の共通認識の醸成を図り、健康都市杉並発展のための推進基盤の整備を図る。				(1) イベント参加者数						
				(2) 協賛 協力団体数						
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)			11,035	15,000	27,052	20,000			
	活動指標(2)			32	40	40	34			
	成果指標(1)			11,035	15,000	27,052	20,000			
	成果指標(2)			32	40	40	34			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	320	950	993	829	特記事項		
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人		2.64		2.08	0.70		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	23,953	0	18,876	6,353	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	0	24,273	950	19,869	7,182		
	単位あたりコスト ÷		円		2,200	63	734	359		
	財源	受益者負担分		千円						
		国 都等からの支出金		千円		320				
		特定財源計 +		千円	0	320	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	0	23,953	950	19,869	7,182			
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		健康都市杉並の推進基盤整備を図るため、平成12年度より全く新しい考え方の企画として実施。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		このフォーラムで話し合ったことを、区はどうか受け止め支援してくれるのか、また、今回の話し合いを継続し、より多くの区民、様々な立場の人と話し合いの輪を広げたいなどの意見が出された。							
	今後の予測		保健福祉部全体の事業として定着化し、さらに区全体の事業としての発展を目指す。また、各課関連の区民団体の参加が促進され、さらに、区民主体による健康都市実現に向けた活動が展開されていくことを目指す。							

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		薬物相談関係機関の連携				整理番号	420		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	446		
係名		庶務係				上位施策名			NO			
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400	健康なまちづくりの推進			22			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 13 年度		(1) 杉並区薬物乱用問題関係機関連絡協議会設置要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 薬物相談関係機関の連携強化のための試行事業実施要綱(東京都)							
	薬物の乱用問題に関わる各種相談関係機関(保健所、医療機関、警察、学校、民間カウンセリング機関、民間社会復帰施設等)		(3)									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)									
	薬物相談関係機関で構成する連絡協議会を設置し、各関係機関の所管業務の相互理解、情報交換、対応困難な相談事例の検討等を通じて、適切な連携体制の確立を図る。 なお、この事務事業は、東京都の委託事業として、平成12、13年度の2年間行ったものである。		(1)		連絡協議会参加団体数		(2)		連絡協議会開催回数			
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)										
薬物相談関係機関の連携を強化し、薬物乱用の初期段階及び治療終了後の社会復帰段階において、薬物乱用者の状態や家庭環境等の事情に応じて適切に対応できる体制を確立する。		(1)		薬物乱用事例検討数		(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		各関係機関の連携体制を確立し、薬物乱用者に対する適切な対応を行うことにより、健康なまちづくりの推進を図る。										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		24	24	24							
	活動指標(2)		2	3	3							
	成果指標(1)		0	4	2							
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	336	336	336		特記事項					
	(内)委託費	千円										
	職員数(正規 非常勤)	人		0.10	0.10	0.11						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	907	908	998	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	0	1,243	1,244	1,334	0					
	単位あたりコスト ÷	円		51,804	51,813	55,594						
	財源	受益者負担分	千円									
		国都等からの支出金	千円		336	336	336					
		特定財源計 +	千円	0	336	336	336	0				
差引:一般財源 -		千円	0	907	908	998	0					
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	現在、「第3次覚せい剤乱用期」といわれる薬物乱用問題は、特に、青少年層への拡大が著しく、大きな社会問題となっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測	平成13年の薬物事犯の総検挙人員は、前年と比べると減少しているが、犯罪の巧妙化、潜在化も考えられ、引き続き、予断を許さない状況である。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等急病診療			整理番号	421		枝番号		
所属部課名 杉並保健所健康推進課				コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	447	
係名 健康推進係				上位施策名				NO		
予算事業名 休日等急病診療				コード	45950	地域医療体制の整備				
事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				48 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱				
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
休日等の急病により診療を必要とする区民				(3)						
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)					
	多くの医療機関が休診する時間帯における急病患者に対する休日等急病診療を固定及び医療機関の輪番当番制によって実施している。 (1)平日・固定診療 1所 (2)土曜日・固定診療 1所 ・輪番診療 耳鼻咽喉科1カ所 (3)日曜日・固定診療 1所 ・輪番診療 8カ所				(1) 休日等受診者延人数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				開設延日数					
	休日等にも区民が安心して身近な地域で症状に応じた医療が受けられるようにする。				(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				成果指標名 (式)						
多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。				(1) (代)一日固定診療所 診療者数						
				(2) (代)一日在宅輪番診療所診療者数						
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	8,744	7,392	8,432	8,789	9,497			
	活動指標(2)	日	690	808	816	816	982			
	成果指標(1)	人	6	14	16	16	9			
	成果指標(2)	人	9	8	6	6	6			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	159,873	139,286	140,476	140,492	151,873	特記事項		
	(内)委託費	千円	159,577	139,154	139,824	139,823	151,351	指標として転帰者率とするところであるが数値を捕らえるのが難しいため代替として、固定、輪番受診者の一日の受診者数とする。予定受診者数 9497人		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.72	0.21	0.15	0.41	0.45			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,533	1,905	1,361	3,721	4,084		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	166,406	141,191	141,837	144,213	155,957			
	単位あたりコスト ÷	円	19,031	19,101	16,821	16,408	16,422			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円	4,128	4,128	4,128	4,128	4,128		
		特定財源計 +	千円	4,128	4,128	4,128	4,128	4,128		
差引:一般財源 -		千円	162,278	137,063	137,709	140,085	151,829			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平日準夜の小児科診療について、平成12年度から事業の休止をしていたが、区民の強い要望により平成14年度から再開した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	要望 ・夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 ・救急時の医療体制を充実してほしい。 ・急病診療機関の当番表を広報に掲載してほしい。								
	今後の予測	少子高齢化の進展や疾病構造の変化などから、救急医療に対する需要は年々増加とともに多様化してきており、区民からの救急医療体制の整備についての要望は強くなっていく。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科休日急病診療				整理番号	422		枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	449	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		休日等診療		コード	45950		地域医療体制の整備				39
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		休日等に歯科診療を必要とする区民		(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		多くの医療機関が休診する休日や祝祭日、年末年始等における歯科の急病患者に対応するため、杉並区歯科医師会に事業を委託、実施している。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		休日、祝祭日や年末年始等における急病患者に対する歯科医療を確保する。				成果指標名(式)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		多くの医療機関が休診する休日、祝祭日や年末年始等において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	719	662	計画	実績	669	740	690	
	活動指標(2)		日	71	71	72	72	71			
	成果指標(1)		人	10	9	9	10	9.7			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,140	24,292	24,574	24,519	24,732	特記事項		
	(内)委託費		千円	24,078	24,328	24,404	24,404	24,585			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.41	0.11	0.37	0.32	0.25			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,720	998	3,358	2,904	2,269		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	27,860	25,290	27,932	27,423	27,001			
	単位あたりコスト ÷		円	38,748	38,202	41,751	37,058	39,132			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	27,860	25,290	27,932	27,423	27,001				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		救急診療体制に対する区民の要望は依然高い。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		要望 夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 救急時の医療体制を充実してほしい。								
	今後の予測		疾病の急発は予測不能であり、患者の急減は考えにくく、休日等における歯科医療機関の整備は、今後も必要である。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		急病診療調剤事業				整理番号	423		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	450		
係名		健康推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		休日等診療		コード	45950	地域医療体制の整備				39		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区調剤待機事業実施要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	休日等に調剤を必要とする区民		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		一般の薬局が調剤しない時間帯に処方箋に基づく調剤事業を行う。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		急病診療事業及び歯科診療事業と連携し、急病患者に処方箋に基づき薬を調剤することにより休日等急病診療事業の円滑な運営を図る。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		急病診療事業及び歯科診療事業に対応する処方箋の応需体制を確保することにより、区民が安心して生活できる。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		日	2,391	1,889	2,148	2113	3180				
	活動指標(2)		日	366	120	120	120	365				
	成果指標(1)		人	7	15.7	17.9	17.6	8.7				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,988	8,128	8,130	8,122	10,762		特記事項		
	(内)委託費		千円	8,552	7,680	7,689	7,688	10,321				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21	0.11	0.10	0.38	0.25				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,905	998	908	3,449	2,269			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,893	9,126	9,038	11,571	13,031				
	単位あたりコスト ÷		円	4,556	4,831	4,207	5,476	4,098				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	10,893	9,126	9,038	11,571	13,031					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平日準夜の小児科診療及び調剤業務を休止していたが、区民の強い要望により平成14年度から再開した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		要望 夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 救急時の医療体制を充実してほしい。									
	今後の予測		固定診療において診療を行うのであるなら、休日等における保険調剤事業は必要もあるが、区内調剤薬局の休日等の営業状況によっては検討を要する事業である。									



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		災害救急対策				整理番号	424		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	451	
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名		災害救急対策		コード	42200		健康を支える仕組みづくり				40	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 54年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 災害対策基本法							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 災害時に医療救護所等に搬送されてきた負傷者等				(2) 杉並区地域防災計画							
					(3) 災害時の医療救護活動に関する協定(医師会等)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 災害時に医療救護所となる区立小・中学校(15校)に配備している災害救急ミニセット(医薬品及び衛生資材)の入替・滅菌等維持管理、区立小・中学校(67校)に配備している接骨セットの滅菌等維持管理をおこなう。				活動指標名(式)				(1) 維持管理している災害救急ミニセットの数			
									(2) 維持管理している接骨セットの数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 負傷者に対して、応急処置等適切な医療救護を行う。				成果指標名(式)				(1) (代)災害救急医薬品等が整備されている医療救護所の割合				
								(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 災害救急医薬品等を整備することにより、災害時における区民の健康の確保に備えている。												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	セット	15	15	15	15	15					
	活動指標(2)	セット	67	67	67	67	67					
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,748	11,162	11,162	11,162	13,151	特記事項			
	(内)委託費		千円	13,748	11,162	11,162	11,162	13,151				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.41	0.42	0.40	0.41	0.40				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,720	3,811	3,630	3,721	3,630			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	17,468	14,973	14,792	14,883	16,781				
	単位あたりコスト ÷		円	1,164,529	998,177	986,133	992,183	1,118,733				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	17,468	14,973	14,792	14,883	16,781					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成7年の阪神・淡路大震災以降、震災対策の強化と震災に強い安全なまちづくりの推進が求められている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		平成7年の阪神・淡路大震災後7年が経過し、大災害直後に比べると直接の要望数は減少しているが、引き続き震災対策の強化と震災に強い安全なまちづくりに対する住民の期待は高い。									
	今後の予測		震災対策の強化と震災に強い安全なまちづくりの推進は、継続的に行う必要がある。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科保健医療センター運営				整理番号	425		枝番号		
所属部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号		
係名		健康推進係				上位施策名			NO		
予算事業名		歯科保健医療センター運営		コード	46350	地域医療体制の整備			39		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区立歯科保健医療センター条例				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立歯科保健医療センター条例施行規則						
	在宅要介護状態や障害等などの理由でかかりつけ歯科医持たない区民。一般の歯科診療所での診療が困難な区民。		(3) 杉並区立歯科保健医療センター運営要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区立歯科保健医療センターにおいて、地域の歯科医療機関の連携やかかりつけ歯科医に関する相談・歯科医療機関の紹介等を行う事業及び障害や病気により一般歯科診療所の受診が困難な区民を対象に専門的歯科治療等を提供する事業を(社)東京都杉並区歯科医師会に委託して実施する。						活動指標名(式)		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		身近にかかりつけ歯科医を持ち、歯科治療に限らず気軽に相談できる環境をつくる。また、高次歯科医療機関、専門歯科医療機関や内科診療機関との連携により、安全で適切な歯科治療の場を確保する。						成果指標名(式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		かかりつけ歯科医を持たない、または、一般歯科診療所での受診が困難なため歯科診療等を受けることができなかった住民に対して、安全で適切な歯科治療を受ける機会を確保し、地域歯科医療の向上と住民の健康を守ることにつながっている。						(1) かかりつけ歯科医を持つ区民の割合			
		(2) 延べ診療件数の前年比									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		19年度			
指標	活動指標(1)		件			100	99	110	150	66.0	
	活動指標(2)		回			2,300	2,944	2,900	3,000	98.1	
	成果指標(1)					57.0	59.9	60.0	62.0	96.6	
	成果指標(2)							100	130	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			83,076	82,718	72,773	特記事項		
	(内)委託費		千円			77,075	71,283	72,773	平成13年度からの事業のため、13年度計画及び、13年度以前の実績は記入しない。		
	職員数(正規 非常勤)		人			1.50	1.45	1.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	13,613	13,159			11,798
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	0	0	96,689	95,877	84,571			
	単位あたりコスト ÷		円			966,885	968,452	768,823			
	財源	受益者負担分		千円			16,357	18,277			16,500
		国 都等からの支出金		千円			13,117	13,117			
		特定財源計 +		千円	0	0	29,474	31,394			16,500
差引:一般財源 -		千円	0	0	67,215	64,483	68,071				
受益者負担比率 ÷		%			16.9	19.1	19.5				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		障害者歯科診療事業と家庭訪問歯科診療事業を統合して平成13年4月1日に区立歯科保健医療センターを開設した。家庭訪問歯科診療事業の機能を受け継ぐ歯科医療連携室は紹介対応の歯科医療機関リストを作成し、医師会との協議を経て区内病院入院患者への訪問歯科診療提供体制の整備を行っている。また、障害者歯科診療事業を受け継ぐ歯科診療室は、受診件数の増加に対応するため診療ユニット増								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		区北西部に位置することから、障害を持つ通院患者にとって通院が困難な場合があり、利用者および区歯科医師会から「患者搬送体制の整備」や「施設移転」についての希望がある。								
	今後の予測		事業の定着にしたい、かかりつけ歯科医の紹介希望の増加が見込まれるほか、国公立病院や大学病院などの高次歯科医療機関から地域の歯科医療機関へのいわゆる逆紹介などの対応が望まれることが予想される。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		分煙化の推進				整理番号	426		枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号		
係名		健康推進係		上位施策名				NO			
予算事業名		健康づくり推進		コード	42620		健康なまちづくりの推進		22		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		11 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 健康増進法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 職場における禁煙対策のためのガイドライン (厚生労働省)			(2) 東京都分煙化ガイドライン			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(1) 区民 (2) 区立施設		(1) 分煙機器設置施設数			(2) 分煙 禁煙のお店の数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区立施設の分煙化を計画的に行うことにより、区民一人ひとりが分煙化の意義を理解し、たばこの健康への影響を減少させるとともに、喫煙者も非喫煙者も安心して暮らせる環境を確保する。		成果指標名 (式)			(1) 分煙機器設置率 (分煙機器設置施設累計数)÷(設置可能施設数)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区立施設の分煙化を計画的に推進し、また区民一人ひとりが分煙化の意義を理解することにより、区民が安心して健やかに暮らせるまちづくりに役立っている。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標 (1)		施設	6		15	15	22	118	12.7	
	活動指標 (2)		店			43	2	60	550	0.4	
	成果指標 (1)		%	3.2		7.9	7.9	11.6	62.1	12.7	
	成果指標 (2)		%	30.1		28.9	28.9	28.9	減らす	#VALUE!	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,998		2,856	2,112	2,338	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.05		0.10	0.10	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	454	0	908	908	908		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	5,452	0	3,764	3,020	3,246			
	単位あたりコスト ÷		円	908,608		250,900	201,300	147,523			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	5,452	0	3,764	3,020	3,246				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区の喫煙率は近年減少しており、たばこの害についても、少しずつ区民に浸透しつつある。また、平成14年8月に公布された健康増進法では、「学校、官公庁施設等多数の者が利用する施設」に、新たに「受動喫煙防止のための必要な措置」を講じる努力義務が規定された。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		区立施設に分煙機器を設置していても、形ばかりの分煙対策で十分に機能していない。区民の利用の多い施設では、原則禁煙とするべきとの要望がある。								
	今後の予測		非喫煙者の受動喫煙や未成年の喫煙を含めて、区の総合的なたばこ対策を強化することについて要望は強くなる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康づくり推進員				整理番号	427		枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	455	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550		健康なまちづくりの推進				22
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 国民の健康・体力増強対策について(閣議決定)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 国民の健康づくり地方推進事業実施要綱						
	地域の健康づくりを推進する9つの健康づくり地区会と地区会を運営する健康づくり推進員		(3) 杉並区健康づくり地区会補助金交付要綱								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)								
平成9年度から行ってきた委嘱方式を改め、13年7月から、地区町会単位を基本に、9つの健康づくり地区会を設け推進員の主体的な健康づくり活動を開始した。各地区会では、健康づくりに関する情報発信、学習会や地域団体との交流会・地区会活動の企画運営のための会議の開催を行っている。						(1) 定例会議開催回数					
						(2) 地区会事業開催回数					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)									
地域の住民活動(地区会活動)が盛んになり、活発になり「健康都市杉並」を実現するひとつの要素となる。健康づくり推進員をはじめ、住民が健康なまちづくりにむけて主体的にいきいきと活動する。						(1) 地区会事業参加人数					
						(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		健康づくり地区会、健康づくり推進員の地域への働きかけにより、住民一人ひとりが主体的に参加する健康なまちづくりが可能になり、子どもから高齢者まで全ての人が、安心して健やかに生活できる「健康都市」の創造に貢献する。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		15	年度			
指標	活動指標(1)	回			90	72	90	90	80.0		
	活動指標(2)	回			45	46	45	45	102.2		
	成果指標(1)	人			1,350	1,979	1,350	1,350	146.6		
	成果指標(2)	人									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,769	1,407	894	814	894	特記事項			
	(内)委託費	千円									
	職員数(正規 非常勤)	人	4.22	3.76	4.38	3.43	3.87				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	38,288	34,114	39,749	31,127	35,120			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	40,057	35,521	40,643	31,941	36,014				
	単位あたりコスト ÷	円			451,583	443,628	400,158				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円					1,920			
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	1,920			
差引:一般財源 -		千円	40,057	35,521	40,643	31,941	34,094				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	時代の変化に合わせた健康づくり住民リーダーを育成するため、平成9年に健康づくり推進員制度を発足させた。一期2年の任期で委嘱方式で二期4年実施した。これまでの活動上の問題点の解決を図りながら平成13年7月から、活動に対する活動助成のための補助金交付形態とし、9つの健康づくり地区会への主体的な活動を支援することとした。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	従来の二層制による謝礼金方式より皆が一丸となって活動しやすい。 ・日ごろ、健康に関心を持たない地域の人たちへ、地域の身近な場所での講習会は、参加しやすい、日ごろの疑問の解決の糸口になった、地域の人たちと交流するきっかけになったと好評だった。									
	今後の予測	地域住民の声や地域の特性にあった活動が健康づくり推進員によって主体的に展開され、町会等の地域団体と協働した健康なまちづくりが推進される。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康づくり支援事業				整理番号	428		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	456		
係名		健康推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		健康づくりの推進		コード	46550		健康なまちづくりの推進			22		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地域保健法第6条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 国民の健康づくり地方推進事業実施要綱							
	区民		(3) 地域健康づくり支援事業実施要領									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)									
講座やセミナーの受講者に、自主グループ結成を促す。誕生グループに対して3年を限度として、共同事業による講座実施やネットワーク交流会などを通じて地域での自立活動にむけて支援する。		(1) 新規誕生グループ数										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		(2) 共同事業実施回数(グループと行政が共同で行う事業)										
健康づくり自主グループを多数誕生させ、その成熟に向けて支援することにより、地域で主体的に活動する自主グループが増加し、ネットワーク化が図られ、草の根的に区民の健康づくり活動が展開される。		成果指標名(式)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(1) 自立した(発足後3年経過)健康づくり自主グループ数 / 平成11年度に誕生したグループ数										
		(2) ネットワーク交流会参加グループ数 / 支援中の自主グループ数										
		多彩な健康づくり自主グループが多く誕生し、主体的な健康づくり活動が行われることは、健康なまちの要素である。多年にわたるグループ同士の交流からも多様な活動が展開され、地域の健康づくりに貢献する。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		15年度		
指標	活動指標(1)		グループ	19	20	25	30	20	20	20	150.0	
	活動指標(2)		回	44	70	32	32	32	32	32	100.0	
	成果指標(1)		%	67	68	100	53	60	60	60	88.3	
	成果指標(2)		%	82	68	80	94	90	90	90	104.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,400	1,458	1,842	1,269	1,573	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	5.41	5.84	5.76	5.91	4.92				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	49,085	52,986	52,272	53,633	44,649			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	50,485	54,444	54,114	54,902	46,222				
	単位あたりコスト ÷		円	2,657,102	2,722,216	2,164,560	1,830,075	2,311,100				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	50,485	54,444	54,114	54,902	46,222					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度にスタートし、現在103グループが誕生し、うち45グループが自立である。途中グループの解散やグループ同士の統合などを経ながら、区として杉並健康ネットワークに繋がっていきという機運が高まっている。健康づくりグループ間の交流に留まらず、高齢者、障害者などとの交流を通じて広い視野に立った健康づくり地域活動が始まっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		仲間づくりと健康づくりが同時にできてうれしい。グループ誕生後3年経過して自立グループになっても、活動の場や、職員の支援を継続してほしい。杉並ネットワークを拠点に情報交換や各自主グループ活動の活性化を図りたい。									
	今後の予測		健康づくり自主グループが毎年各保健センターで新規に誕生し、自立グループも増加してくる。その結果、互いに触発され、多彩な活動が展開される。また、杉並健康ネットワークの充実が図られ、生きがい活動から健康なまちづくりへの積極的な参加など行政のパートナーとして充実した活動が予測される。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康増進事業				整理番号	429		枝番号			
所属部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	470		
係名		健康推進課係				上位施策名			NO			
予算事業名		健康づくりの推進		コード	42620	生涯を通じた健康づくりの支援			23			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		11 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区保健医療センター条例					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区保健医療センター条例施行規則							
	軽度の生活習慣病罹患患者及び生活習慣病境界域にある区内在住・在勤(学)者。						(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		施設運営を民間業者及び杉並区医師会に委託し、運動負荷検査を年12回、運動指導を年153回実施する。				活動指標名(式)					
						(1) 運動負荷検査受験者数						
						(2) 運動指導利用者数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		処方された運動プログラムに基づく運動を継続的に実践することにより生活習慣の改善行動を促し、疾病の発症・進行を予防する。				成果指標名(式)						
						(1) 生活習慣改善率 (生活習慣が改善された者)÷(利用者数)						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
生活習慣を改善する必要のある区民に、バランスのとれた食事・生活・運動を実践する手助けを行うことで、一人ひとりの健康づくりに役立っている。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			15年度	
指標	活動指標(1)		人	33	42	48	46	48	48	48	95.8	
	活動指標(2)		人	341	1,199	1,200	1,903	1,200	1,200	1,200	158.6	
	成果指標(1)		%		15							
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,159	4,616	5,027	4,922	4,622	特記事項			
	(内)委託費		千円	6,799	4,607	4,607	4,607	4,325				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.23	0.38	0.35	0.45	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	3,448	3,176	4,084	1,815				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	9,246	8,064	8,203	9,006	6,437				
	単位あたりコスト ÷		円	280,175	191,994	170,901	195,777	134,104				
	財源	受益者負担分		千円	220	470	492	662	492			
		国都等からの支出金		千円		2,597	3,401	3,400	3,401			
		特定財源計 +		千円	220	3,067	3,893	4,062	3,893			
差引:一般財源 -		千円	9,026	4,997	4,310	4,944	2,544					
受益者負担比率 ÷		%	2.4	5.8	6.0	7.4	7.6					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年生活習慣病予防対策は病気の早期発見・早期治療という「二次予防」から、健康的な生活習慣により疾病の発症・進行を予防する「一次予防」に重点を移している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		運動指導の前提となる運動負荷検査が平成11年度は月4回、平成12年度は事業縮小して月1回になり、しかも平日にしか実施されないため施設を利用しづらい。									
	今後の予測		疾病の一次予防の観点から生活習慣を改める必要性の高い者は、今後も増加が見込まれる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康づくり協力店普及促進				整理番号	430		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号			
係名		健康推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660		生涯を通じた健康づくりの支援					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区ヘルシーメニュー推奨店実施要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 飲食店等（一般飲食店、すし屋、そば屋、弁当屋、惣菜店、仕出屋、集団給食施設）及び区民		(2)			(3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		食生活の健康的な環境づくりにむけて、飲食店等がメニューへの栄養成分表示やヘルシーメニューの創造、健康・栄養情報の提供等を行っていくよう、栄養アドバイザーを派遣しながら支援していく。こうした条件が整備された飲食店に対して、ヘルシーメニュー推奨店として認証し、ステッカー等の店頭表示や広報等を当して区民周知する。			活動指標名（式）			(1) ヘルシーメニュー推奨店の認証			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		健康的な食事の選択及び健康・栄養情報を望む区民が増えることで、ヘルシーメニュー推奨店数が拡大する。ヘルシーメニューを利用する区民が増え、外食を利用する区民の健康づくりができる。			(2) ヘルシーメニュー推奨店への取組み数			(1) ヘルシーメニュー推奨店になって客が増えた飲食店 / ヘルシーメニュー推奨店			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ヘルシーメニュー推奨店が区内に多数誕生することにより、健康的な社会の仕組みとして外食を通じての食の環境づくりが実現し区民の生涯を通じた健康づくりに施策に貢献する。			(2) ヘルシーメニューの利用が多い飲食店 / ヘルシーメニュー推奨店						
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			22 年度			
指標	活動指標(1)		店舗			60	43	60		550	7.8	
	活動指標(2)		店舗			60	56	60		550	10.2	
	成果指標(1)		%			80	68.6	80		80	85.8	
	成果指標(2)		%			100.00	76.40	100.00		100.00	76.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円		2,133	851	851	1,948		特記事項		
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規   非常勤)		人					0.77		0.15		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	6,988		1,361		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +		千円	0	2,133	851	7,839		3,309			
	単位あたりコスト ÷		円			14,183	182,297		55,154			
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円		2,133	851	851		1,948		
		特定財源計 +		千円	0	2,133	851	851		1,948		
差引：一般財源 -		千円	0	0	0	6,988		1,361				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		西荻北、荻窪北、荻窪南の各地域からヘルシーメニュー推奨店事業に取り組んできた。これらの飲食店のPRを契機に阿佐ヶ谷、高円寺地域の飲食店からのヘルシーメニュー推奨店への申し出がありこれらの地域への広がっている。また、ヘルシーメニュー推奨店事業に異業種の商店街関係者が関心を示すようになり商店街の活性化につないでいこうとする動きを見せている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		「自分の近隣に利用できるヘルシーメニュー推奨店を増やしてほしい」「広報等認証店がわかるように情報を流してもらいたい」「ヘルシーメニュー推奨店になるために、商店会にも話をかけていきたい」「ヘルシーメニュー推奨店に向けて取り組みたい」など、飲食店側のみならず利用者からの期待が寄せられている。									
	今後の予測		ヘルシーメニュー推奨店へのヘルシーメニューの取組からさらに飲食店の分煙化等が推進される。こうした健康の視点をもった飲食店以外の商店もまちに増えていく。また、健康づくり推進員や健康づくり自主グループ事業などとも連携をとり健康なまちづくりにむけての基盤が整備されていく。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども健康教室				整理番号	431		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	458		
係名		健康推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660	生涯を通じた健康づくりの支援				23		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 栄養改善法第8条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		児童・生徒		(2) 地域保健法第6条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		心身の成長に合った望ましい食習慣を中心とした健康的な生活習慣の形成を目的とし、児童館や学校栄養職員と連携をとり、講義や食事づくり体験教室等を通して指導を行う。				(3)					
	活動指標名 (式)						(1) 教室参加者数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		健康的な生活習慣が定着し、食事づくりなど食をはじめとした生活技術を身に付ける。				(2)					
成果指標名 (式)						(1) 教室参加者数 ÷ 募集定員数						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 学童への食教育を通じて、健康的な生活習慣を身につけた成人(区民)を育成することにより、糖尿病や心臓病などの生活習慣病の有病率の減少やそれに伴う医療費の軽減などにつながり、生活習慣病予防への大きな貢献となる。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			15年度	
指標	活動指標(1)		人	143	128	140	129	140	140	140	92.1	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	84	82	90	91	90	90	90	101.1	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	55	55	55	55	55	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.42	0.48	0.83	0.67				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	3,811	4,356	7,532	6,080			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	4,592	3,866	4,411	7,587	6,135				
	単位あたりコスト ÷		円	32,108	30,200	31,507	58,816	43,823				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	4,592	3,866	4,411	7,587	6,135					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初に引き続き、肥満や高脂血症の増加など小児生活習慣病が課題となっている。加えて、朝食欠食や痩せ願望が子ども達の間を広がり、こうした食生活全体の乱れに関する課題への対応も重要となっている。学齢期保健検討会において、これらの対応について検討している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		栄養クイズで楽しく、健康づくりが学べた。おやつ選び方、量が理解できた。皆で作るおやつづくりが楽しかった。									
	今後の予測		学齢期保健の体系化に向けて、教育委員会、保健福祉部と検討中である。									



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ヘルシーセミナー				整理番号	432		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	459		
係名		健康推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660	生涯を通じた健康づくりの支援				23		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地域保健法第6条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 老人保健法第14条							
	地域や個人の健康づくりに関心のある区民		(3) 栄養改善法第8条									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)									
	個人の健康づくりの三要素である栄養・運動・休養をテーマに、体験学習を含め延べ5回の講座を若年層向きと中年層向きとの年2回実施する。受講後は、健康生活の継続や地域への普及を目的に自主グループの結成に繋げる。		(1) 教室開催数 (2) 受講者延べ数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)										
健康的な生活習慣を身に付けた区民を地域に増加させる。自主グループの結成により、健康的な生活スタイルが容易に継続されるとともにその活動が地域に拡がり、地域全体に健康都市杉並にむけた活動が展開される。		(1) 自主グループ新規入会者/参加者数 (2) 自主グループの結成数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
参加者の健康度が向上し、また、自主グループ活動が地域に普及し、区民の健康づくり推進施策に貢献する。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		15年度			
指標	活動指標(1)		回	5	5	5	10	10		10	100.0	
	活動指標(2)		人	1,870	1,229	2,500	1,174	1,400		1,400	83.9	
	成果指標(1)		%	48	69	50	74	70		75	98.7	
	成果指標(2)		グループ	3	5	5	8	8		8	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,307	1,218	1,311	1,214	830		特記事項		
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.88	1.17	1.45	1.05	1.25				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,984	10,615	13,159	9,529	11,344			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,291	11,833	14,470	10,743	12,174				
	単位あたりコスト ÷		円	1,858,248	2,366,682	2,893,950	1,074,275	1,217,375				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円		352	540	559	497			
		特定財源計 +		千円	0	352	540	559	497			
差引:一般財源 -		千円	9,291	11,481	13,930	10,184	11,677					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		食生活だけではなく総合的な視点からの健康づくりの内容を組み立て、体験学習を中心としたセミナーをスタートさせた。主に主婦を対象に展開して好評を得てきたが、平成11年度組織体制の変更や景気低迷によるパート等就業者増による受講希望者減少などから、12年度の荻窪保健センターの試行を経て、さらに5保健センターで10日制から5日制、対象者も若年層と中年層に分けて年2回実施した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		健康的な食生活、運動等について、家庭でも実践できる内容であること、体験型であるので実行しやすいこと、継続に向けグループになって共に活動することの楽しさを知った等、受講者から好評の声が多く聞かれる事業である。									
	今後の予測		若年層については、出席しやすいように午前9時半から11時半にして短期集中型にする等工夫し、これまで比較的関心の薄かった区民が健康について意識、理解し、正しい知識を得る場として、重要性が増す。さらに、企画に区民の意見を取り入れ(幼稚園等の行事にぶつからないような配慮等)参加しやすい環境を作る。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康講座				整理番号	433		枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	42660	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	460	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		栄養・健康講座		コード	42660	生涯を通じた健康づくりの支援				23	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		○ 無 ○ 有		平成 年度		(1) 老人保健法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区保健 福祉計画						
	地域づくりや健康づくりに興味のある区民		(3) 栄養 健康教室実施要領								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者の生き方などの地域の健康や福祉に関する課題を継続的に学習・体験し合わせて区民相互の交流を図ることを目的に、ひとつの講座を2～4回で実施している。				活動指標名(式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		個人の健康問題から、地域の健康問題へと発展させ考えることができる。ともに支えあえる地域づくりを目指し、自主グループ活動やボランティア活動などが積極的にできる。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ひとり一人の健康づくりが、地域の健康づくりに発展することで「健康都市杉並」の推進に貢献する。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回	5	5	5	6	2		120.0	
	活動指標(2)		人	453	378	400	375	240		93.8	
	成果指標(1)		グループ	2	2	2	4			200.0	
	成果指標(2)		%					80			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	419	507	621	420	448	特記事項		
	(内)委託費		千円						平成13年度に健康教室全般の見直しを行った。地域健康講座は、健康なまちづくり教室として再編し平成14年度から実施することとした。講座の企画(内容・実施回数・実施体制等)の方向性を見定めるため当面健康推進課を中心として区内全域を対象として実施することとしている。成果指標(2)は平成14年度からである。		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.99	1.02	1.17	1.13	1.42			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,982	9,254	10,618	10,255	12,887			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,401	9,761	11,239	10,675	13,335			
	単位あたりコスト ÷		円	1,880,254	1,952,292	2,247,750	1,779,125	6,667,250			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円		120	214	187			
		特定財源計 +		千円	0	120	214	187			0
差引:一般財源 -		千円	9,401	9,641	11,025	10,488	13,335				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初は、高齢者関係のテーマを多く取り上げていたが、中高年女性の更年期の問題や働き盛りの年代のころと身体両面の健康問題も取り上げ実施してきた。健康づくりが「個人の健康づくり」から「健康なまち(都市)づくり」へと転換が求められていることから平成13年度にこれまで実施してきた栄養・健康教室と生活習慣病予防教室を見直し、「健康講座」として一本化して、健康都市構成要素に沿った課題を設けて実施する「健康なまちづくり教室」を開催することになった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		主体的に取り組める教室運営としていることから、参加者相互の交流が盛んに行なわれ好評である。								
	今後の予測		「健康なまちづくり教室」として、個人レベルの健康増進ばかりでなく健康なまちづくりに興味・意欲を持つ区民の育成を行う。この教室が、既存の組織やグループの活動を活性化し、健康なまちづくり運動を推進する。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		栄養・健康講座				整理番号	434		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150431	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	461		
係名		健康推進係				上位施策名			NO			
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660	生涯を通じた健康づくりの支援			23			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地域保健法第6条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 老人保健法第14条							
	新しい健康情報の収集をはじめ、健康づくり活動に関心のある区民		(3) 栄養改善法第8条									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		話題となっている健康情報をテーマとし、情報の整理や正しい選択などを講義及び調理実演、実習方式で指導する。					活動指標名 (式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		マスコミ等から提供される広範囲な健康情報の中から、自分に合った正しい情報の選択を行い、さらにそれを活用して健康づくりが実践できるようになる。					成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		多くの健康情報から個人に合った情報が選択でき、それを日々の生活の中で実践する区民が増えることにより、疾病予防や積極的な健康づくりが行われ、区民の健康度の向上に寄与できる。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			15	年度		
指標	活動指標 (1)		回	64	57	43	44	30		30	146.7	
	活動指標 (2)		人	1383	1065	1200	1174	840		840	139.8	
	成果指標 (1)		%	85	86	80	65.5	80		80	81.9	
	成果指標 (2)		%	79.00	76.00	80.00	61.80	80.00		80.00	77.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,440	1,097	1,113	1,041	885		特記事項		
	(内)委託費		千円									
	職員数 (正規   非常勤)		人	2.38	2.50	2.23	1.56	2.17				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	21,594	22,683	20,237	14,157	19,693				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	23,034	23,780	21,350	15,198	20,578				
	単位あたりコスト ÷		円	359,902	417,184	496,517	345,409	685,925				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円		332	374	373	470			
		特定財源計 +		千円	0	332	374	373	470			
差引:一般財源 -		千円	23,034	23,448	20,976	14,825	20,108					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民の健康志向の高まりのなかで、食生活や健康に関する多くの情報がマスコミ等から発信されてきた。こうした中で、健康的な食生活の推進にむけて、情報過多のなかで正しい選択が可能となるようまた食生活に関するトピックスを取り上げて講座を開催してきた。その後、食生活から健康全般にテーマを広げて取り組むこととなり現在にいたっている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		情報の整理ができた。トータル的に健康づくりの実践方法を身に付けることができた。									
	今後の予測		健康に関する種々の情報が多くマスコミから発信され、その選択に関して住民に混乱が生じる事態が多くなる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		集団給食施設指導				整理番号	435		枝番号				
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	462			
係名		健康推進係			上位施策名				NO				
予算事業名		栄養・健康教室		コード	42660	健康なまちづくりの推進				22			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		27年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 栄養改善法第8条の2第9条の2第10条、第11条						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 栄養改善法施行規則第6条				(3) 集団給食施設等指導実施要領				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		主に施設への巡回及び保健所への来所により、栄養管理についての個別指導を行う。また、提出された栄養報告や講習会等への参加を通して指導していく。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		喫食者にあった栄養量が確保され、常に喫食者の健康づくりを配慮した食事を提供し、それを通して喫食者が健康づくりのための知識を習得できる給食施設にする。				成果指標名(式)						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		集団給食施設の栄養管理が効果的に実施されることにより、区民である喫食者の健康づくりが可能となり、区民の栄養改善施策の向上に貢献する。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			15年度		
指標	活動指標(1)		施設	110	140	170	65	120	100	65.0			
	活動指標(2)		人	135	146	180	172	180	180	95.6			
	成果指標(1)		%	75	64	80	56	80	80	70.0			
	成果指標(2)		%	53	60	60	68	70	70	97.1			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	354	357	365	340	356	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.86	0.72	0.55	0.57	0.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,803	6,533	4,991	5,173	1,815				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	8,157	6,890	5,356	5,513	2,171					
	単位あたりコスト ÷		円	74,153	49,211	31,507	84,812	18,092					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	8,157	6,890	5,356	5,513	2,171						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、コンビニエンスストアや外食利用の増加などにより集団給食の役割も変化してきた。また、給食施設の利用も朝食の喫食率の低下や夕食の主菜の偏重など飽食時代が反映されている。こうした中で、食教育の課題が増している。また、不況による合理化策の一環からと予測されるが給食施設運営の委託化が進行しており、現在把握している施設の半数強に至っている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		第六次改定栄養基準量にあった食事では、主菜量が少なく、喫食者から不満の声があがる。栄養士サイドからは、所要量が適正なのかとの疑問の声もでた。給食施設運営を委託した場合の施設側の栄養士の職務のあり方、栄養管理の手法を知りたいとの声があがっている。										
	今後の予測		さらに委託化が進み、施設管理者の理解により巡回指導の受け入れが困難になることが予測される。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神保健相談			整理番号	436		枝番号	
所属部課名				精神保健相談	コード	150104		連絡先電話番号	4524
係名				健康推進係	上位施策名				NO
予算事業名				精神保健対策	コード	42700		障害者の地域社会での自立支援	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	50 年度		根拠法令等	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第2条、第47条		
	精神障害者及びその家族並びに一般区民				(2)				
					(3)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)				
(1)各保健センターにおいて精神科専門医による相談日を設け、相談を行っている。					(1) 保健相談 保健指導延人数 (医師、保健婦)				
(2)保健婦による相談及び訪問指導を随時行っている。					(2) 保健相談回数 (医師)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)				
(1)精神障害の予防、早期発見、早期治療、再発を予防する。					(1) (代)相談者実人数				
(2)一般区民に対し、精神保健に関する知識、理解を深め、広く区民の社会的偏見を是正する。					(2) (代)訪問指導者延べ回数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
精神保健に関する知識、理解を深め、社会的偏見を是正し、精神障害者が、住みなれた地域社会のなかで共に生きることができるまちを実現する。									

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標 (1)	人	7,800	7,596	7,600	8,720	8,500				
	活動指標 (2)	回	167	158	161	151	167				
	成果指標 (1)	人		274	1,000	1,952	2,000				
	成果指標 (2)	回		1,187	1,000	1,352	1,000				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,066	4,809	5,056	4,789	5,093	特記事項			
	(内)委託費	千円						精神保健に関する成果は、専門医の相談日における相談者の転帰ついて指標とするべきだが、成果としては、表しにくい。このため、代替指標で表す。(12年度から変更する。)			
	職員数 (正規   非常勤)	人	8.33	8.30	8.23	8.73	6.64				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	75,578	75,306	74,687	79,225			60,258	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +	千円	80,644	80,115	79,743	84,014	65,351				
	単位あたりコスト ÷	円	10,339	10,547	10,493	9,635	7,688				
	財源	受益者負担分	千円								
		国 都等からの支出金	千円	1,322	1,326	1,326	1,346			1,346	
		特定財源計 +	千円	1,322	1,326	1,326	1,346			1,346	
差引：一般財源 -		千円	79,322	78,789	78,417	82,668	64,005				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	入院中心の医療から、地域ケアを中心とする対策への大きな変化の中で、相談 訪問指導延人数も増加傾向にあり 相談内容も多様化している。また、核家族化に伴いひきこもりなど表面にでにくい状態の人が増えてきていることから、より関係機関との連携を図りながら相談対応する必要が出てきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	医療機関と違い、直接本人が来所できなくても、困った人が相談に来ることができる機関として評価されたいが専門相談など相談内容の充実等について要望がよせられている。
	今後の予測	社会的ストレス等の増加もあり相談の需要はよくなることそれんには予防、早期発見、再発防止に重点をおき、相談内容の多様化に対応するため、精神科専門医の同伴の訪問相談の必要性が高くなることと予測される。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者社会復帰訓練				整理番号	437		枝番号					
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	42700		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	464			
係名				健康推進係				上位施策名		NO				
予算事業名				コード				障害者の地域社会での自立支援		34				
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		53 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 第2条					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		回復途上にある精神障害者		(2)					
	回復途上にある精神障害者								(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				各保健センターで、レクリエーション活動、創作活動等を実施する。必要に応じて、個別相談、訪問指導を行なう。				活動指標名(式)				(1) 参加者延人数	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				レクリエーション活動を中心としたプログラムによる集団生活指導を行なうことにより、対人関係の円滑化や日常生活習慣の習得等を図り、社会生活への適応能力を向上させ社会復帰へと結び付けていく。				成果指標名(式)				(1) 参加者実人数中社会復帰訓練を終了した者の割合		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				「入院医療中心の治療体制から地域ケアを中心とする体制へ」という大きな流れがある。回復途上にある精神障害者の社会復帰が促進されることで、誰もが、住みなれた地域社会の中で共に生きるまちの実現に寄与できる。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%				
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		人	3,955	4,036	5,800	3,997	4,600		68.9				
	活動指標(2)		回	388	394	390	386	384		98.9				
	成果指標(1)		%	9	10	10	12	10		120.0				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,515	12,114	13,531	11,935	12,560	特記事項					
	(内)委託費		千円						社会復帰訓練終了とは、共同作業所への福祉的就労や家庭内適応を言う					
	職員数(正規 非常勤)		人	5.48	5.19	4.11	4.53	4.59						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	49,720	47,089	37,298	41,110	41,654						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	63,235	59,203	50,829	53,045	54,214						
	単位あたりコスト ÷		円	15,989	14,669	8,764	13,271	11,786						
	財源	受益者負担分		千円										
		国都等からの支出金		千円	116	116	116	117	116					
		特定財源計 +		千円	116	116	116	117	116					
差引:一般財源 -		千円	63,119	59,087	50,713	52,928	54,098							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		入院中心の治療体制から地域社会でのケアへという流れの中で、新規入院患者の入院期間も短期化しつつある。参加者も比較的若い人が多くなってきている。精神分裂病以外のケースも徐々に増えている。精神共同作業所等のデイケア以外の通所資源も少しずつ増えてきているため、併用利用者も増えている。また、社会復帰を目指す、デイケアというよりディサービスの利用者も見られるようになった。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		医療の場とはなれた地域の身近な場で通所しやすく、家族を含めた相談・支援を行なっていることで、本人・家族だけでなく福祉事務所など関係機関や民生委員等にも評価され、期待されている。											
	今後の予測		入院期間の短期化や社会的入院ケースの社会復帰促進の動きの中で、社会復帰訓練を中心とした地域の受け皿整備について検討が必要である。また、引きこもりや、思春期のケースも増えており対応の検討が必要となっている。											

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神保健福祉連絡協議会運営				整理番号	439	枝番号		
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	465	
係名		健康推進係		上位施策名				NO		
予算事業名		精神保健対策		障害者の地域社会での自立支援				34		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区精神保健福祉連絡協議会設置要綱					
	精神保健事業に関する機関及び団体		(2)							
	精神保健事業に関する機関及び団体		(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)								
精神保健福祉事業に対する意見交換を行うとともに、実務担当者会に情報ネットワークづくりやボランティア育成等についての検討会を設置し、実施に向け企画等を行う。		(1) 協議会開催数								
		(2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)								
地域における対象者のケースに適切に対処できるよう関係機関・団体との連携強化を図る。地域における関係機関・団体とのネットワーク化を図る。		(1) 意見、情報交換を行った団体数								
		(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
精神障害者を支える地域ネットワークを実現する。										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	回	0	2	2	1	2			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	団体数	0	11	11	11	11			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	16	138	204	72	235	特記事項		
	(内)委託費	千円								
	職員数(正規 非常勤)	人	0.02	0.04	0.20	0.33	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	181	363	1,815	2,995	908		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	197	501	2,019	3,067	1,143			
	単位あたりコスト ÷	円		250,460	1,009,500	3,066,750	571,250			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	197	501	2,019	3,067	1,143			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	「障害者基本法」及び「精神保健及障害者福祉に関する法律」の改正等により精神障害者が「障害者」として明確に位置付けられた。これまでの保健医療施策に加えて、福祉施策の充実を図るなど、地域保健福祉施策の強化が求められている。また、東京都が全般的に実施してきた薬物乱用関係機関の連携強化を受けて、区においても「杉並区薬物乱用問題関係機関連絡協議会」を平成12年度及び13年度実施してきた。薬物乱用の問題は薬物依存症対策でもある。アルコール・薬物等の依存症対策も含めて協議できるよう再編が求められている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者に対する施策の充実を求めている。 地域のネットワークづくり								
	今後の予測	精神保健福祉事業を推進するにあたって、関係機関・団体との連携は、ますます重要になる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康手帳交付				整理番号	462		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	493		
係名		健康推進係				上位施策名			NO			
予算事業名		生活習慣病対策		コード	44200	生涯を通じた健康づくりの支援			23			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 老人保健法 第13条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 健康手帳交付事務処理要領					
	30歳以上で健康手帳の交付を希望する区民						(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老人医療対象者には、高齢者在宅サービス課から老人医療証を送付する際同封している。医療対象者以外の区民には、希望により、保健所・各保健センター・区民事務所等の窓口で発行している。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		医療を受ける際に必要な事項を記載したり、健康診査の記録等に活用し、健康管理に役立てる。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		健康手帳の活用により、保健・医療・福祉の連携に大きな役割を果たしている。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		部	20795	17475	22000	16,779	14000				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	35	40	39	37	39				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,459	2,207	2,398	2,207	1,526	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.11	0.11	0.11	0.30	0.26				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	998	998	998	2,723	2,360				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	3,457	3,205	3,396	4,930	3,886				
	単位あたりコスト ÷		円	166	183	154	294	278				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	3,457	3,205	3,396	4,930	3,886					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始当初は、区民健康診査の対象年齢に合わせ40歳以上の希望者に窓口交付を行っていたが、その後成人健康診査の対象年齢を引き下げたのに合わせ、30歳以上の希望者にも窓口交付を行っている。なお、成人健康診査40歳勤奨者には、勤奨通知とともに健康手帳を同封し郵送していたが、平成14年3月以降は郵送せず窓口交付のみとした。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測		老人医療対象者は今後増えると思われ、70歳以上の健康手帳の交付件数は増加が見込まれるが、医療対象者以外の区民にはPR不足等のため交付件数が伸びない。									



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活習慣病教室				整理番号	463		枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150431	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	494	
係名		健康推進係				上位施策名			NO		
予算事業名		生活習慣病対策		コード	44200	生涯を通じた健康づくりの支援			23		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地域保健法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		生活習慣病の予防及びその活動に感心のある区民		(2) 老人保健法				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		生活習慣病に関する予防及び改善についての医学的な知識、具体的な食生活や運動についての講義及び実技指導を教室や講座方式で開催し、生活習慣病予防のための健康的な生活実践を促す。教室終了後は、健康的な生活習慣の継続を支援する自主グループが結成される。				(3) 生活習慣病予防教室実施要領				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		健康的な生活に向けて区民の意識が高まり、健康的な生活スタイルの継続に向けて自主グループ活動が活発に行われる。				活動指標名 (式)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		糖尿病、高脂血症などの個別の生活習慣の予防とそれらの疾病に伴う合併症の発症抑制するための生活習慣病予防対策を通じて健康寿命の延長を図り生涯を通じた民の健康づくりに貢献している。				成果指標名 (式)				
						(1) 生活習慣の改善を試みようという人数 / 生活習慣病予防教室出席者					
						(2) 自主グループ結成数 / 生活習慣病予防教室開催数					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		15	年度			
指標	活動指標 (1)	回	38	35	18	21	18	18	116.7		
	活動指標 (2)	人	1635	1903	1530	1397	1305	1305	107.0		
	成果指標 (1)	%	71	60	80	52	80	80	65.0		
	成果指標 (2)	%	20.00	20.00	22.00	23.80	22.00	22.00	108.2		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,979	2,062	2,176	2,028	1,081	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数 (正規   非常勤)		人	3.39	3.98	3.53	3.72	3.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	30,757	36,111	32,035	33,759	30,401			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	32,736	38,173	34,211	35,787	31,482			
	単位あたりコスト ÷		円	861,486	1,090,644	1,900,597	1,704,143	1,749,014			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円		485	700	667	685		
		特定財源計 +		千円	0	485	700	667	685		
差引：一般財源 -		千円	32,736	37,688	33,511	35,120	30,797				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民健診等の要指導者を含め、医学知識及び改善に向けての具体的な技術の提供として教室を開催してきたが、こうした健診の事後指導及びフォローアップについては、フォローアップ教室として強化する方向性へと分け、生活習慣病教室のあり方として、予防を中心に自分の健康づくりから疾病予防のための環境づくり等必要要因まで考える力量のある自主グループの誕生に結びつける。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		従来生活習慣の改善について必要性を感じる人達にとっては、個人に合わせた食生活 運動等の実践が具体的でわかりやすいと好評であった。また、その後自主グループに参加した人達からは、検査データの改善からトータルな健康づくりを考えるようになったとの意見が出されている。								
	今後の予測		生活習慣病の予防をきっかけにして、健康な地域づくりに向けて考え活動を主体的に行う区民を支援する契機としての教室の運営につなげていく。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		胃がん検診				整理番号	464		枝番号		
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	495	
係名		健康推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		がん検診		コード	44600		生涯を通じた健康づくりの支援			23	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 胃集団検診実施要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		35歳以上で勤務先に検診機会のない区民		(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区医師会に委託して、申込制により通年実施している。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		早期にがんを発見する。				成果指標名(式)				
						意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか					
						早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。					
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		人	4,104	8,635	9,474	10,410	9,324	10,200	102.1	
	活動指標(2)		人	823	2,274	1,900	2,568	2,190	2,550	100.7	
	成果指標(1)		%	2	5	5	5	5	4	125.0	
	成果指標(2)		%	20	26	20	25	23	25	98.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,263	36,594	37,602	39,516	35,017	特記事項		
	(内)委託費		千円				38,215				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.12	0.87	0.59	0.57	0.45			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,162	7,894	5,354	5,173	4,084			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	43,425	44,488	42,956	44,689	39,101			
	単位あたりコスト ÷		円	10,581	5,152	4,534	4,293	4,194			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円	582	3,902	4,473	4,579	4,605		
		特定財源計 +		千円	582	3,902	4,473	4,579	4,605		
差引:一般財源 -		千円	42,843	40,586	38,483	40,110	34,496				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度検診車を廃止し保健医療センター1所での検診とした。平成12年度より40歳から65歳までの5歳毎の節目年齢の希望者に対して、新たに血清ペプシノゲン検査を区民健診と同時に実施している。また、がん検診の見直しにより区民健診と同時実施の血清ペプシノゲン・大腸がんを除くがん検診について、平成14年度4月より検診費用の一部を受診者の負担(胃がん検診X線のみ:1000円)とした。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		保健医療センター1箇所での検診は不便である。検診車の復活または近くの医療機関で実施する等自宅の近くで受診できるように工夫してほしい。								
	今後の予測		胃がん検診による死亡率は減少しているものの、罹患率は以前として高い水準で推移しており、この傾向は今後も続くことが見込まれる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子宮がん検診				整理番号	465		枝番号				
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	496			
係名		健康推進係				上位施策名			NO				
予算事業名		がん検診		コード	44600	生涯を通じた健康づくりの支援			23				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区子宮がん検診実施要領						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)								
	30歳以上で勤務先等に検診機会のない女性の区民		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		30歳以上で勤務先等に検診機会のない女性の区民				活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		早期にがんを発見する。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績		16年度					
指標	活動指標(1)		人	10680	10618	10540	11,533	10,600	12,000	96.1			
	活動指標(2)		人	107	111	84	111	75	120	92.5			
	成果指標(1)		%	8	9	9	9	8	9	100.0			
	成果指標(2)		%	1	1	1	1	1	1	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	116,659	116,777	119,259	135,517	95,149	特記事項				
	(内)委託費		千円	111,700	113,292	114,831	131,780	90,449					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.95		1.07		0.80		0.57		0.25	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,619	9,708	7,260	5,173	2,269				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	125,278	126,485	126,519	140,690	97,418					
	単位あたりコスト ÷		円	11,730	11,912	12,004	12,199	9,190					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	125,278	126,485	126,519	140,690	97,418						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から乳がん検診とともに、医師会実施分について受診票の自動送付を希望する区民を登録したことにより、申込方法の簡素化ができ、当該実施分の受診者数が増加した。13年度から、東京都がん検診センターへの委託を医師会委託に一本化した。がん検診の見直しにより平成14年4月から大腸がん検診を除く、がん検診の一部有料化を実施した。自己負担金1000円。受診期間を通年にした。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		現在、中野区の一部の医療機関でも受診できるが、その他の近隣区でも受診できるようにしてほしいとの意見がある。										
	今後の予測		平成13年度から受診期間を延長したことにより、今後益々受診者数が増加すると思われる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		肺がん検診				整理番号	466		枝番号		
所属部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	497	
係名		健康推進係				上位施策名			NO		
予算事業名		がん検診		コード	44600	生涯を通じた健康づくりの支援			23		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区肺がん検診実施要領				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)						
	35歳以上で勤務先等に検診機会のない方		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		毎年6月20日から8月20日までの2ヵ月間に、申込制により区内医療機関に委託して実施する。				活動指標名(式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		早期にがんを発見する。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		人	2,079	2,183	2,300	2,172	2,000	2,200	98.7	
	活動指標(2)		人	48	48	70	50	60	70	71.4	
	成果指標(1)		%	1	1	1	1	1	1	101.0	
	成果指標(2)		%	3	2	3	2	3	3	76.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,736	33,194	31,151	27,669	24,780	特記事項		
	(内)委託費		千円			30,131	26,878	23,877			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.54	0.49	0.57	0.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,083	4,899	4,447	5,173	3,176			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	36,819	38,093	35,598	32,842	27,956			
	単位あたりコスト ÷		円	17,710	17,450	15,477	15,121	13,978			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	36,819	38,093	35,598	32,842	27,956				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		がん検診の見直しにより 区民健診と同時実施の血清ペプシノゲン・大腸がんを除くがん検診について、平成14年度4月より検診費用の一部を受診者の負担(肺がん検診:1000円)とした。一部自己負担により2,000千円の経費を削減した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		2ヶ月間の実施期間では短いので受診期間を延ばしてほしい。								
	今後の予測		肺がんによる死亡率の増加傾向は、今後も続くことが見込まれるので、肺がん予防対策の重要性は変わらない。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳がん検診				整理番号	467		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	498		
係名		健康推進係				上位施策名			NO			
予算事業名		がん検診		コード	44600	生涯を通じた健康づくりの支援			23			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区乳がん検診実施要領					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	30歳以上で勤務先等に検診機会のない女性の区民		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		申込制により、杉並区医師会及び区内個別医療機関に委託し実施している。				活動指標名(式)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		早期にがんを発見する。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。				(1) 受診率 (受診者数) ÷ (30歳以上対象人口 × 対象人口率)						
							(2) 要精密検査者数 ÷ 受診者数					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		16	年度				
指標	活動指標(1)	人	8832	8592	8865	10,017	7,600	10,000	100.2			
	活動指標(2)	人	196	171	300	605	260	600	100.8			
	成果指標(1)	%	7	7	8	8	6	7	114.3			
	成果指標(2)	%	2	2	3	6	3	6	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	36,081	35,012	37,129	40,443	26,577	特記事項				
	(内)委託費	千円	33,841	32,891	34,403	38,300	24,945					
	職員数(正規   非常勤)	人	0.34	0.43	0.39	1.08	1.08					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,085	3,901	3,539	9,801	9,801				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	39,166	38,913	40,668	50,244	36,378					
	単位あたりコスト ÷	円	4,435	4,529	4,588	5,016	4,787					
	財源	受益者負担分	千円									
		国 都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	39,166	38,913	40,668	50,244	36,378					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成10年度から子宮がん検診とともに受診票の自動送付を希望する区民を登録したことにより、申込方法の簡素化ができ、当該実施分の受診者数が増加した。がん検診の見直しにより、平成14年4月から大腸がん検診を除く、がん検診の一部有料化を実施した。乳がんは自己負担金600円。14年度から受診期間を通年にした。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	現在の視触診のみの検診方法では、十分な検診結果が得られないのではとの意見がある。										
	今後の予測	区民のがん予防への関心の高まりにより、今後益々受診者数が増加すると思われる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大腸がん検診		整理番号	468		枝番号				
所属部課名 保健福祉部健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	499		
係名 健康推進係				上位施策名				NO			
予算事業名		がん健診		コード	47150		生涯を通じた健康づくりの支援		23		
事務事業の概要	事業開始年度 ○昭和 ●平成 4年度			根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 ●無 ○有 平成 年度			(1) 杉並区大腸がん検診実施要領							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 30歳以上で勤務先に検診機会のない区民			(2)							
				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民健康診査(高齢者健康診査、成人健康診査)受診者に対し、同時に実施している。				活動指標名(式) (1) 大腸がん検診の受診者数  要精密検査者数 (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 早期にがんを発見する。				成果指標名(式) (1) 受診率 (受診者数)÷(対象人口×健康保険非本人率) (2) 要精密検査者率 (要精密検査者数)÷(受診者数)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		19年度	
指標	活動指標(1)		人	66,332	69,847	69,200	73,956	71,700	92,024	80.4	
	活動指標(2)		人	5,579	6,084	6,264	6,391	6,196	7,951	80.4	
	成果指標(1)		%	46	45	47	35	28	28	125.0	
	成果指標(2)		%	8	9	9	9	9	9	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	134,006	124,748	123,027	131,894	132,596	特記事項		
	(内)委託費		千円	130,543	122,097	120,423	129,421	131,033			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.33	1.20	1.22	1.41	0.25			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,067	10,888	11,072	12,796			2,269
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	146,073	135,636	134,099	144,690	134,865			
	単位あたりコスト ÷		円	2,202	1,942	1,938	1,956	1,881			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	146,073	135,636	134,099	144,690	134,865				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成4年4月から、便潜血2日法により原則として、区民健康診査を実施した人で検診を希望する人に同時に実施している。区民健康診査受診者数の増加に伴い、大腸がん検診の受診者数も増加し、また65歳以上の受診者が毎年増加している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		世田谷区と相互乗り入れを希望する声がある。								
	今後の予測		高齢者が毎年増加しているので、今後、高齢者健診と同時に実施する大腸がん検診受診者は増加する。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		喉頭がん検診			整理番号	469		枝番号	
所属部課名 杉並保健所健康推進課				コード	150104		連絡先電話番号	4524	
係名 健康推進係				上位施策名				NO	
予算事業名		がん検診		コード	44600		生涯を通じた健康づくりの支援		23
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			4年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有			平成 年度		(1) 杉並区喉頭がん検診実施要領			
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			55歳以上で勤務先等に検診機会のない区民		(2)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			申込制により、杉並区医師会に委託し実施している。		(3)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			早期にがんを発見する。		活動指標名(式)			
					(1) 受診者数				
					(2) 要精密検査者数				
					成果指標名(式)				
					(1) 要精密検査者数 ÷ 受診者数				
					(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
早期にがんを発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を高める。									

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		16	年度		
指標	活動指標(1)	人	1092	339	450	373	450	450	82.9	
	活動指標(2)	人	5	3	10	0	10	10	0.0	
	成果指標(1)	%	0.46	0.88	2.22	0	2.22	2.22	0.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	13,529	4,159	5,544	4,546	5,153	特記事項		
	(内)委託費	千円	12,989	4,009	5,348	4,395	4,898			
	職員数(正規   非常勤)	人	0.23	0.32	0.29	1.14	1.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,087	2,903	2,632	10,346	9,075		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	15,616	7,062	8,176	14,892	14,228			
	単位あたりコスト ÷	円	14,300	20,833	18,168	39,924	31,618			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	15,616	7,062	8,176	14,892	14,228			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	区民のがん予防への関心の高まりにより、年々受診者数が増加したが、検診開始からがんの発見の報告が極めて少ないこと、また老人保健法に定められた事業ではないことなどの理由から平成12年度より対象年齢の引き上げ並びに検診人数を定め、事業の縮小を行った。平成14年度は検診人数の定員制の撤廃をした。がん検診の見直しにより、平成14年4月から、一部有料化を実施した。自己負担金1,000円。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	検診項目がすべて終わらないうちに医師の判断で説明の無いまま精密検査にまわされた。納得がいかない。区が行っている検診なのだから実態を知り、受診者の気持ちを理解してほしいとの意見があった。
	今後の予測	一部有料化を実施したことにより、検診の意味が見直された。その結果希望者は、今後受診予想数を上回ると思われる。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高年者健康診査		整理番号	470	枝番号	
所属部課名 保健福祉部健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	501
係名 健康推進係				上位施策名		NO	
予算事業名 区民健康診査		コード	47350	生涯を通じた健康づくりの支援		23	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人保健法第12条、16条、20条		
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 老人保健法による保健事業の実施について				
	65歳以上で勤務先等に健診機会のない区民(自営業、専業主婦など)		(3) 杉並区区民健康診査等実施要領				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 健診実施期間...9月~11月。区内及び隣接区(中野・練馬)の医療機関で受診。対象者全員に受診票を送付。併せて希望者に大腸がん検診を、また、65歳の希望者に胃がん(ペプシノゲン検査法)検診を同時に実施している。				活動指標名(式)		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 生活習慣病予防対策の一環として、疾患あるいはリスクを持つものの早期発見を図る。健康管理に関する正しい知識を伝え、生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づける。健康寿命を延ばし、寝たきりや介護状態を予防する。				成果指標名(式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 寝たきりや介護状態を予防し、健康寿命を延ばすことにより、老後の生活の質(Q L)の向上が図られる。また、医療や介護に対する社会的負担を軽減することができる。				(1) 受診者数 ÷ 65歳以上の人口			
				(2) 要指導者数 ÷ 受診者数			

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	19年度	年度			
指標	活動指標(1)	人	46,732	48,730	48,600	50,897	50,500	64,910	78.4			
	活動指標(2)	人	15,238	16,434	16,390	18,622	18,477	23,757	78.4			
	成果指標(1)	%	58	59	57	60	58	58	102.6			
	成果指標(2)	%	33	34	34	37	37	37	98.9			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	856,638	826,870	852,588	864,722	849,339	特記事項				
	(内)委託費	千円	842,727	812,415	837,922	850,472	834,410					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.68	0.10	0.84	0.10	0.99	0.10	1.14	0.10	1.25	0.10
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,170	7,621	8,984	10,346	11,344				
		非常勤職員分	千円	294	294	297	297	297				
	総事業費 ++	千円	863,102	834,785	861,869	875,364	860,979					
	単位あたりコスト ÷	円	18,469	17,131	17,734	17,199	17,049					
	財源	受益者負担分	千円									
		国都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	863,102	834,785	861,869	875,364	860,979					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化の進展とともに対象人口が増え続けている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)	世田谷区、武蔵野市との相互乗入れを希望する声がある。対象者全員への受診票送付は、申込手続きが不要で良いという意見がある一方で、経費の無駄であるという反対意見がある。
	今後の予測	対象人口が増える。



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人健康診査				整理番号	471		枝番号							
所属部課名		保健福祉部健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	502					
係名		健康推進係				上位施策名				NO						
予算事業名		区民健康診査		コード	47350		生涯を通じた健康づくりの支援				23					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人保健法第12条、16条、20条									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		30歳から64歳で勤務先等に健診機会のない区民（自営業、専業主婦など）		(2) 老人保健法による保健事業の実施について									
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)									
	受診者の誕生日から3ヶ月間に区内及び隣接区（中野・練馬）の医療機関で健診を受ける。申込制（継続送付制度あり）。						(1) 受診者数 (2) 要指導者数									
意図		(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)										
生活習慣病予防対策の一環として、疾患あるいはリスクを持つものの早期発見を図る。健康管理に関する正しい知識を伝え、生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づける。健康寿命を延ばし、寝たきりや介護状態を予防する。						(1) 受診者数 ÷ 老人保健法対象人口 (2) 要指導者数 ÷ 受診者数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		健康を維持し健康寿命を延ばすことにより、老後の生活の質（Q L）の向上が図られる。また、医療や介護に対する社会的負担を軽減することができる。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度計画		13年度実績		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	23,785		25,218		28,000		27,395		28,140		30,546	89.7	
	活動指標(2)		人	8,545		10,077		11,189		10,929		11,226		12,188	89.7	
	成果指標(1)		%	22		23		25		25		26		26	96.2	
	成果指標(2)		%	36		40		40		40		40		40	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	410,932		402,769		448,260		440,645		473,901		特記事項		
	(内)委託費		千円	366,633		364,016		403,299		401,109		464,957				
	職員数(正規   非常勤)		人	8.36	1.50	8.67	1.50	8.33	1.50	6.13	1.50	0.55	1.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	75,850		78,663		75,595		55,630		4,991			
		非常勤職員分		千円	4,409		4,409		4,449		4,449		4,449			
	総事業費 ++		千円	491,191		485,840		528,304		500,724		483,341				
	単位あたりコスト ÷		円	20,651		19,266		18,868		18,278		17,176				
	財源	受益者負担分		千円												
		国都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	491,191		485,840		528,304		500,724		483,341					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初、老人保健法に基づき40歳から60歳の区民を対象としてきたが、昭和61年から35歳以上に、平成2年からは30歳以上と対象年齢を引き下げた。平成8年から継続送付希望者登録制の実施。平成11年からは30歳～64歳と対象年齢を変更した。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待要望 苦情など)		世田谷区と相互乗り入れを希望する声がある。													
	今後の予測		対象人口の増加が見込まれ、受診率も向上する。													

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人歯科健康診査				整理番号	472		枝番号			
所属部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号			
係名		健康推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		区民健康診査		コード	4735		生涯を通じた健康づくりの支援					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等					
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 老人保健法第12条 (2) 杉並区成人歯科健康診査実施要領 (3)					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 40・50・60歳の区内在住者。									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区歯科医師会に委託し、歯科医療機関で歯周疾患健診および歯科保健指導を行う。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		健診と保健指導を通じて歯科疾患の発症と重症化を予防する。また、定期健診の実践やかかりつけ歯科医の普及を図る。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 歯周疾患をはじめ歯科疾患の発症、重症化を予防すること、また、かかりつけ歯科医を中心に健診機会を充足することで区民の健康の保持増進に貢献している。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			19年度			
指標	活動指標(1)		人			1,198	1,716	1,174		6,254	27.4	
	活動指標(2)		件									
	成果指標(1)		%			6.0	8.5	6.0		10.0	85.0	
	成果指標(2)		%				56.5	56.0		55.0	102.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			10,055	13,300	9,941		特記事項		
	(内)委託費		千円			7,830	11,216	7,733		当事業は平成13年より実施している。		
	職員数(正規 非常勤)		人			0.30	0.32	0.35				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,723	2,904	3,176			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	12,778	16,204	13,117				
	単位あたりコスト ÷		円			10,666	9,443	11,173				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円			3,796	4,578	3,489			
		特定財源計 +		千円	0	0	3,796	4,578	3,489			
差引:一般財源 -		千円	0	0	8,982	11,626	9,628					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当事業は平成13年度から実施している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		具体的な予防方法を含む健康教育や保健指導への期待、最新の知見を得る場としても期待されている。									
	今後の予測		事業の定着にしたがって受診率、実施歯科医療機関数の増加が見込まれる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境衛生監視				整理番号	444		枝番号		
所属部課名		保健所生活衛生課		コード	150231	連絡先電話番号	4522		昨年度整理番号	470	
係名		環境衛生担当係				上位施策名			NO		
予算事業名		環境衛生監視		コード	42800	健康を支える仕組みづくり			40		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50	年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成	年度		(1) 理美容師法、クリーニング業法、公衆浴場法、旅館業法等 (2) 水道法、ビル衛生管理法、環境衛生指導指針 (3) プール条例、コインランドリ業綱等、健康で快適な室内環境の確保事業実施要領等			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		環境衛生関係営業者、営業施設利用区民。共同住宅等建築物管理者・居住者、水道施設管理者・設置者、井戸所有者		活動指標名(式)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		環境衛生営業施設の許認可、衛生指導、講習会の開催等。建築物の室内環境調査指導等及び飲料水の安全確保。				(1) 営業施設の監視等指導数(講習会参加施設含)及び住居衛生に関する相談指導数(講習会参加者含) (2)				
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		区民の生活に欠かせない営業施設の衛生水準を向上させ、安心して利用できる施設とする。安全な居住環境の実現や飲料水の供給により、健康で快適な住まいを確保する。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民を取り巻く環境や生活諸条件の中で衛生指導・調査・相談を行うことにより、区民の健康を確保する。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		17	年度		
指標	活動指標(1)		件	3,253	2,564	1,871	2,720	1,805			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	92.5	93.5	100	95.5	100			
	成果指標(2)		件	99	224	100	129	100		500	25.8
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,590	2,820	2,974	2,374	3,087		特記事項	
	(内)委託費		千円	919	761	958	782	840			
	職員数(正規 非常勤)		人	9.90	9.00	9.00	9.10	9.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	89,823	81,657	81,675	82,583	81,675			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	93,413	84,477	84,649	84,957	84,762			
	単位あたりコスト ÷		円	28,716	32,947	45,243	31,234	46,960			
	財源	受益者負担分		千円	3,183	2,730	3,368	2,790	2,819		
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	3,183	2,730	3,368	2,790	2,819		
差引:一般財源 -		千円	90,230	81,747	81,281	82,167	81,943				
受益者負担比率 ÷		%	3.4	3.2	4.0	3.3	3.3				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		社会状況の変動は、毎年新たな事例を生み出し、これらに対応して事業を変化させている。(室内化学物質による汚染防止対策、新興感染症対策等)								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		区民ニーズは、社会の動きに敏感であり、マスコミ等に取り上げられた事例には早急に行政として対応を求められる。現在、室内環境(化学物質揮散量、ダニアレルゲン量等)の安全確保については環境調査を実施し、結果に基づき住まい方のアドバイスを行うことで区民の期待に応えている。また、営業施設における感染症対策については業界への指導と理解により、区民の不安解消に努めている。								
	今後の予測		住居衛生事業は、国や都の動向もあり、室内環境への取組みの強化や、小規模貯水槽水道の管理の充実が求められており、危機管理の観点から今後も充実を図る必要がある。また、営業施設についても、理美容所の消毒方法の変更、プールの水質基準の強化等、感染症対策を中心とした指導が必要となる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		食品衛生監視			整理番号	445	枝番号		
所属部課名 杉並保健所生活衛生課				コード	150231	連絡先電話番号	4522	昨年度整理番号	471
係名 管理係				上位施策名				NO	
予算事業名 食品衛生監視				コード	43000	健康を支える仕組みづくり		40	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 23 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 食品衛生法				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 食品関係業者、営業施設、営業施設利用者及び区民				(2) 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律				
					(3) 食品製造業等取締条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 飲食に起因する衛生上の危害の発生防止と衛生知識向上を目的として、法及び条例に基づき許可・監視・検査・講習会等を実施している。				活動指標名(式)				
				(1) 食品関係営業施設の監視指導件数					
				(2) 食品衛生講習会実施件数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止するとともに、区民の食品の安全性に対する不安を取り除き、安全で健康的な食生活を確保する。				成果指標名(式)					
				(1) 全福祉 教育関係給食(食事)提供施設における衛生管理検査票(HACCP方式)63項目の平均適合率(%)					
				(2) 区内施設(家庭を含む)に原因があった苦情及び食中毒の件数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民の健康危機管理を確かなものにし、食生活を通し区民が安心して暮らせるまちづくりに寄与する。									

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	件	24714	26105	24250	27472	24589			
	活動指標(2)	回	299	296	229	259	260			
	成果指標(1)	%	90	88	90	93	94			
	成果指標(2)	件	50.00	60.00	45.00	55.00	54.00			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,408	4,632	8,092	8,082	5,758			
	(内)委託費	千円	2,420	2,205	1,842	2,028	1,752			
	職員数(正規 非常勤)	人	21.58	21.29	21.25	20.25	20.25			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	195,795	193,164	192,844	183,769	183,769		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	201,203	197,796	200,936	191,851	189,527			
	単位あたりコスト ÷	円	8,141	7,577	8,286	6,984	7,708			
	財源	受益者負担分	千円	19,368	12,399	14,209	14,437	19,021		
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	19,368	12,399	14,209	14,437	19,021		
差引:一般財源 -		千円	181,835	185,397	186,727	177,414	170,506			
受益者負担比率 ÷	%	9.6	6.3	7.1	7.5	10.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	現在の衛生水準は戦後の復興期と比べ飛躍的に発展したが、食品流通のグローバル化は、輸入食品の増大による食品添加物や残留農薬の問題やO157等の新興感染症の勃興を生み出している。また、科学技術の進歩は、遺伝子組換え食品等の出現など食品の安全性への新たな課題を生み出している。さらに輸入飼料によりBSEが発生するなど、その対応は衛生サイトだけでは解決できないように複雑化を呈して
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	健康都市白書にある13年度生活習慣行動調査の中で、区に対する保健事業の要望で「食品の監視や安全指導」が40.8%(4位)を占めており、区民の食品の安全性に関する要望の高さが示されている。
	今後の予測	一昨年の雪印食中毒事件、昨年度発生したBSE問題に端を発した一連の事件から区民は、食品の安全性に強い不安を抱いている。これらの不安解消に依っていきには、迅速な違反品の排除のみならず、積極的な情報公開や情報提供が必要になるものと考えられる。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		動物の適正飼養指導				整理番号	446		枝番号			
所属部課名		杉並保健所生活衛生課		コード	150231	連絡先電話番号	4522		昨年度整理番号	472		
係名		管理係		上位施策名				NO				
予算事業名		動物の適正飼養		コード	43200	健康を支える仕組みづくり				40		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 動物の愛護及び管理に関する法律					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		犬・猫の飼養者		(2) 東京都動物の保護及び愛護に関する条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		動物の適正飼養の普及啓発 { 冊子・広報紙・プレート・相談 (獣医師会委託を含む) } 犬のしつけ方教室				(3)					
	活動指標名 (式)						(1) 台帳保有数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		動物の適正飼養の指導及び相談を通し、愛護の理解を深めてもらう				(2) 犬のしつけ方教室受講者						
成果指標名 (式)						(1) 苦情 相談受付件数						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
動物愛護と適正飼養及び動物の病気予防の普及啓発をし、人と動物が共生できる環境をつくる												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画		実績		年度	
指標	活動指標 (1)		件	14,080	14,625	14,700	15,339	15,700				
	活動指標 (2)		人	30	36	60	33	60				
	成果指標 (1)		件	1,209	1,123	1,200	1,053	1,000				
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,836	1,560	1,795	1,618	1,920	特記事項			
	(内)委託費		千円	705	505	652	567	548				
	職員数 (正規   非常勤)		人	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,341	11,341	11,344	11,344	11,344			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	13,177	12,901	13,139	12,962	13,264				
	単位あたりコスト ÷		円	936	882	894	845	845				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	13,177	12,901	13,139	12,962	13,264					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、犬猫は人生の伴侶動物として、人の生活を精神的に支えるのに不可欠な存在となっているが、住宅環境の変化により 鳴き声・臭い・飼いや方等近隣とのトラブルが増えている。 苦情相談件数 (H3 620件、 H13 1,053件) 犬登録頭数 (H3 9,887件、 H13 15,339件)									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		犬の放し飼い、散歩時のフンの放置に対する苦情、ホームレス猫の対策等への要望が多い。									
	今後の予測		普及啓発や指導を勤めても、飼養者のモラルによるところが大であるため、苦情等減少することは難しい									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		畜犬登録				整理番号	447		枝番号						
所属部課名 杉並保健所生活衛生課				コード	150231		連絡先電話番号	4522		昨年度整理番号	473				
係名 管理係				上位施策名				NO							
予算事業名 動物の適正飼養				コード	43200		健康を支える仕組みづくり				40				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 狂犬病予防法										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 犬の飼養者				(2)										
					(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 畜犬登録事務 狂犬病予防集合注射 未登録・未注射犬に対する督促				活動指標名(式)				(1) 未登録 未注射犬督促						
					(2)										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 法律に基づいた、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施させる				成果指標名(式)				(1) 鑑札登録頭数 ÷ 台帳保有数							
				(2) 狂犬病予防注射実施頭数 ÷ 台帳保有数											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 狂犬病予防注射接種率の向上により、狂犬病の発生を未然に防ぐ															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		件	4,486		4,892		4,800		4,633		4,400			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	88		95		95		89		90			
	成果指標(2)		%	73		72		80		70		80			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,831		1,737		2,004		1,894		1,642		特記事項 成果指標名欄台帳保有数は鑑札・注射済票の両方とも登録がある台帳 鑑札だけ登録がある台帳 注射済票だけ登録がある台帳 台帳 上記 ~ をあわせた数である 鑑札登録頭数13,625頭 注射実施頭数10,675頭 台帳保有数15,339件 注射ゆづり頭数252頭 (1.6%)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規   非常勤)		人	1.25		1.35		1.35		1.35		1.25			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,341		12,249		12,251		12,251		11,344		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	13,172		13,986		14,255		14,145		12,986			
	単位あたりコスト ÷		円	2,936		2,859		2,970		3,053		2,951			
	財源	受益者負担分		千円	5,622		10,446		9,656		10,580		10,138		
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	5,622		10,446		9,656		10,580		10,138		
差引:一般財源 -		千円	7,550		3,540		4,599		3,565		2,848				
受益者負担比率 ÷		%	42.7		74.7		67.7		74.8		78.1				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		狂犬病予防法の改正により、昭和60年度から狂犬病予防注射は従来年2回が1回に、平成7年度から犬の登録は、毎年度登録が生涯に1回となった												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		昭和32年以降、日本で狂犬病の発生がないのに、なぜいまだに法律で注射を義務でけているのかと、いった疑問が問われることがある												
	今後の予測		海外では、今でも狂犬病は発生しており、また輸入動物の多様化により狂犬病発生の危険があるので、今後も病気を未然にふせぐために予防注射は必要である。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医務監視				整理番号	448		枝番号	
所属部課名		杉並保健所生活衛生課		コード	150231	連絡先電話番号	4522		昨年度整理番号	
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		医務・薬事監視		コード	43300		健康を支える仕組みづくり		40	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 医療法等			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 医師法等			
	診療所等開設者 医療従事者免許申請者						(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		診療所等医療施設関係届出及び、適正な管理を図るための監視指導 医療従事者の免許経由取り扱い				活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		医療法等に基づく医療施設の監視指導を実施し、医療施設の環境整備を目指す				成果指標名(式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		医療施設の安全確保を図る				(1) 医療施設指導監視数				
						(2)				
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	件	580	675	690	575	690			
	活動指標(2)	件	580	561	600	594	600			
	成果指標(1)	件	115	132	134	104	130			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	44	39	218	117	240	特記事項		
	(内)委託費	千円								
	職員数(正規 非常勤)	人	2.00		2.00		2.30		2.30	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	18,146	18,146	20,873	20,873	20,873		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	18,190	18,185	21,091	20,990	21,113			
	単位あたりコスト ÷	円	31,362	26,941	30,566	36,503	30,598			
	財源	受益者負担分	千円							
		国都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	18,190	18,185	21,091	20,990	21,113			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	特になし								
	今後の予測	特に変化なし								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	薬事監視	整理番号	449	枝番号		
所属部課名杉並保健所生活衛生課	コード	150231	連絡先電話番号	4522	昨年度整理番号	
					474	
係名 薬事担当係	上位施策名				NO	
予算事業名 薬事監視	コード	43300	健康を支える仕組みづくり		40	
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 薬事法		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	(2) 毒物及び劇物取締法			
	医薬品販売業者、毒物劇物販売業者、有害物質を含む家庭用品の販売業者			(3) 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名 (式)		
医薬品販売業者等上記の事業者に対し、施設への立入検査を実施し、法令等の遵守を指導するとともに、医薬品や家庭用品などを施設から収去または買い上げし、品質の検査を行う。又、関係事業者や区民に対して講習会やリーフレットの配布等により関係情報の提供を行う。			(1) 監視指導施設件数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名 (式)			
関係業態での法令遵守を徹底することで、医薬品等や毒劇物による区民への健康被害及び事件・事故の未然防止を図る。更に関係情報を区民をはじめ広く提供していくことにより健康の維持・向上を目指す。			(1) 法令基準適合施設件数/監視指導施設件数			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか			(2)			
区民誰もが健康被害を受けることのない安全で安心して暮らせる健康都市杉並の実現に貢献している。						

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		17	年度		
指標	活動指標 (1)	件	109	184	270	218	250	250	87.2	
	活動指標 (2)	件	43	107	140	62	60	70	88.6	
	成果指標 (1)	%	69	85	85	83	90	100	83.0	
	成果指標 (2)	%	46	55	70	75				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,157	1,975	2,290	1,851	1,867	特記事項		
	(内)委託費	千円	1,007	1,547	1,400	1,016	1,400	成果指標(2)については平成13年度「改善件数/法不適合重点項目改善指示件数」と指標作成したが法令基準はすべてクリアするのが原則のため本年度より削除した。指標「総事業費等については医薬品関係、毒劇物関係、有害物質を含有する家庭用品すべての事業を対象とした数値である。		
	職員数(正規 非常勤)	人	1.10	2.02	2.02	2.02	2.02			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,980	18,327	18,332	18,332			18,332
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	11,137	20,302	20,622	20,183	20,199			
	単位あたりコスト ÷	円	102,177	110,339	76,376	92,580	80,794			
	財源	受益者負担分	千円	544	618	620	305			287
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	544	618	620	305			287
差引：一般財源 -		千円	10,593	19,684	20,002	19,878	19,912			
受益者負担比率 ÷	%	4.9	3.0	3.0	1.5	1.4				

事業を取り巻く環境	<p>開始当初から現在までの変化</p> <p>平成10年度医薬品販売施設における薬剤師不在が社会問題化した。都区一体となった指導により改善は見られるが、営業時間中の薬剤師常時配置率が100%には至っていない。平成14年7月には中国製ダイエット食品による死者を含めた重大な健康被害が発生した。こうした医薬品等の副作用による健康被害は未だ後を絶たない。又、毒劇物の不正使用や不適切な取扱による事件・事故も散発している。</p> <p>事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)</p> <p>中国製ダイエット食品による健康被害の発生に伴い、いわゆる健康食品の安全性に関する問い合わせや、成分検査要望などが区民から寄せられている。又、平成13年度都議会決算特別委員会において、杉並区選出の議員より「医薬品等の安全使用を確保するため、販売業における薬剤師の確保(特に夜間)対策が問題提起されている。</p> <p>今後の予測</p> <p>医薬品等に起因する健康被害を防ぐには、何にもまして消費者への適切な情報提供が欠かせない。特に、薬局及び毒物劇物取扱者等に関する事務の移譲が平成17年度を目途に東京都より提案されており、今後、医薬品等による健康被害を防ぐための監視指導体制の工夫と強化及び迅速で的確な区民への情報提供がより一層求められる。</p>
-----------	---